PC98-NXシリーズ

NEC

Mate/Mate J

はじめにお読みください

タイプME(スリムタワー型)、タイプMB(スリムタワー型)、
タイプMR(スリムタワー型)
(Windows XP Professionalインストールモデル)
(Windows XP Home Editionインストールモデル)

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
梱包箱を開けたら、まず本書の手順通りに操作してください。

本書では、特にことわりのない場合、Windows XP Professional、およびWindows XP Home Editionを総称して、Windows XPと表記します。

なお本書に記載のイラストはモデルにより多少異なります。

操作の流れ

1 **型番を控える** 2
本製品の型番を控えます。

2 **添付品の確認** 10
不足しているものや、破損しているものがないかを最初に確認します。

3 **設置場所の決定** 14
設置する場所を決めます。

4 **添付品の接続**
使い始めるのに必要な機器を接続します。本体の型を見て、本書の各型のページをご覧ください。接続する前には、必ず添付の『安全にお使いいただくために』をお読みください。
タイプME(スリムタワー型)の場合 16
タイプMB(スリムタワー型)の場合 26
タイプMR(スリムタワー型)の場合 34

5 **Windowsのセットアップ** 39
初めて電源を入れるときには、Windowsをセットアップします。

6 **お客様登録** 53
お客様の登録をします。

7 **マニュアルの使用方法** 53
添付されているマニュアルの使い方について説明しています。

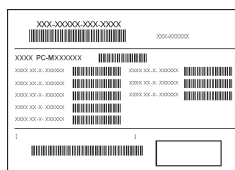
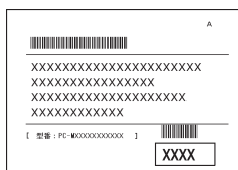
8 **使用する環境の設定と上手な使い方** 57
使用する環境や運用、管理する上で便利な機能を設定します。

9 **付録　機能一覧** 64
各機種の仕様を一覧表にまとめています。

1 型番を控える

型番を控える

梱包箱のステッカーに記載されているスマートセレクション型番(15桁の型番です)、またはフリーセレクション型番(フレーム型番とコンフィグオプション型番)を、このマニュアルに控えておきます。型番は添付品の確認や、再セットアップをするときに必要になりますので、必ず控えておくようにしてください。

フリーセレクション型番の場合は、型番を控えておかないと、梱包箱をなくした場合に再セットアップに必要な情報が手元に残りません。

左が「スマートセレクション型番」、右が「フリーセレクション型番」のステッカーです。
スマートセレクション型番のステッカーの場合は、「スマートセレクション型番を控える」へ、フリーセレクション型番のステッカーの場合は、p.5「フリーセレクション型番を控える」へ進んでください。

スマートセレクション型番を控える

スマートセレクション型番を控えます。控え終わったら、p.10「2　添付品の確認」へ進んでください。

1. スマートセレクション型番を次の枠に控える

PC-M❶□❷□□❸□❹□❺□❻□❼□❽□❾□1

□の意味は次の通りです。

❶モデルの種類を表しています。

✓	型　番	モデル
	Y	Mate
	J	Mate J

❷CPUのクロック周波数の種類を表しています。

✓	型　番	クロック周波数
	18	1.86GHz
	21	2.13GHz
	24	2.40GHz
	26	2.66GHz
	28	2.80GHz
	30	3GHz

❸CPUの種類を表しています。

✓	型　番	CPU
	A	インテル® Core™2 Duo プロセッサー
	E	インテル® Pentium® D プロセッサー
	V	インテル® Pentium® 4 プロセッサー
	X	インテル® Celeron® D プロセッサー

❹本体の型の種類を表しています。

✓	型　番	本体の型
	B	タイプMB(スリムタワー型)
	E	タイプME(スリムタワー型)
	R	タイプMR(スリムタワー型)

❺ディスプレイの種類を表しています。

✓	型　番	ディスプレイ
	B	15型TFTアナログ-LCD(XGA)(LCD52VM-V)
	S	17型TFTアナログ-LCD(SXGA)(LCD72VM-V)
	Z	なし

❻インストールOS、選択アプリケーションの種類を表しています。

✓	型　番	インストールOS	選択アプリケーション
	E	Windows XP Professional	なし
	J		Office Personal 2003
	U	Windows XP Home Edition	なし
	W		Office Personal 2003

❼FDD、CD-ROM系、キーボード、およびマウスの種類を表しています。

✓	型番	FDD	CD-ROM系	キーボード、マウス
	T	FDD	CD-ROM	PS/2 109キーボード＆PS/2マウス
	D		CD-R/RW with DVD-ROM	
	5		DVDスーパーマルチドライブ	
	4		CD-ROM	USB 109キーボード＆光センサー USBマウス
	9		CD-R/RW with DVD-ROM	
	R		DVDスーパーマルチドライブ	

❽通信機能、合計メモリの容量、グラフィックアクセラレータ、再セットアップ用媒体の種類を表しています。

✓	型番	通信機能	合計メモリ	グラフィックアクセラレータ	再セットアップ用媒体
	J	LAN	256MB（256MB×1）	チップセットに内蔵	再セットアップ用CD-ROM添付
	M		512MB（512MB×1）		
	9		1GB（512MB×2）		
	S		256MB（256MB×1）		再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納
	U		512MB（512MB×1）		
	X		1GB（512MB×2）		

❾ハードディスクの容量、筐体アクセントカラーの種類を表しています（タイプME（スリムタワー型）のみ）。

✓	型番	ハードディスクの容量	筐体アクセントカラー
	B	40GB	なし
	S	160GB	ダークブルー
	T	160GB	エレガントシルバー
	8	80GB	ダークブルーまたはなし
	9	80GB	エレガントシルバー

※上記の❶～❾の全ての組み合わせが実現できているわけではありません。

以上で型番を控えるは完了です。
次にp.10「2　添付品の確認」へ進んでください。

フリーセレクション型番を控える

フレーム型番とコンフィグオプション型番を控えます。控え終わったら、p.10「2 添付品の確認」へ進んでください。

1. フレーム型番を次のチェック表にチェックする

□の意味は次の通りです。

❶ モデルの種類を表しています。

✔	型　番	モデル
	Y	Mate
	J	Mate J

❷ CPUのクロック周波数の種類を表しています。

✔	型　番	クロック周波数
	18	1.86GHz
	21	2.13GHz
	24	2.40GHz
	26	2.66GHz
	28	2.80GHz
	30	3GHz

❸ CPUの種類を表しています。

✔	型　番	CPU
	A	インテル® Core™2 Duo プロセッサー
	E	インテル® Pentium® D プロセッサー
	V	インテル® Pentium® 4 プロセッサー
	X	インテル® Celeron® D プロセッサー

❹本体の型の種類を表しています。

✓	型　番	本体の型
	B	タイプMB(スリムタワー型)
	E	タイプME(スリムタワー型)
	R	タイプMR(スリムタワー型)

❺インストールOSの種類を表しています。

✓	型　番	インストールOS
	E	Windows XP Professional
	U	Windows XP Home Edition

2. コンフィグオプション型番を次のチェック表にチェックする

次のコンフィグオプション(以降、COPと略します)型番は、どのモデルにも必須でステッカーには必ず記載されている選択必須と選択したモデルやオプションによってステッカーに記載されている選択任意があります。また、ステッカーに記載されているCOP型番は順不同になっています。
COP 型番に記載されている英数字の意味は次の通りです。

❶PC-D-KB□□□1、 PC-E-KB□□□1はキーボード、マウスを表しています(選択必須)。

✓	型　番	キーボード、マウス
	RS2	PS/2 109キーボード＆PS/2マウス
	USL	USB 109キーボード＆光センサー USBマウス
	10T	テンキー付きPS/2 小型キーボード＆PS/2マウス
	UFP	指紋センサ機能付きUSB 109キーボード＆光センサー USBマウス

❷PC-D-1H□□□1、PC-E-1H□□□1はハードディスクの容量を表しています（選択必須）。

✓	型　番	ハードディスクの容量
	R40	40GB
	E80、D80、またはR80	80GB
	E16、D16、またはR16	160GB
	E30、またはD30	300GB
	W80、またはL80	80GB×2
	W16、またはL16	160GB×2
	W30、またはL30	300GB×2
	T80	80GB×2（RAID1）
	T16	160GB×2（RAID1）
	T30	300GB×2（RAID1）

❸PC-D-ME□□□1、PC-E-ME□□□1は合計メモリの容量を表しています（選択必須）。

✓	型　番	合計メモリの容量
	E25、またはR25	DDR2 SDRAM　256MB（256MB×1）
	B51、E51、またはR51	DDR2 SDRAM　512MB（512MB×1）
	L51、またはW51	DDR2 SDRAM　512MB（256MB×2）
	C10、L10、またはW10	DDR2 SDRAM　1GB（512MB×2）
	B10、E10、またはR10	DDR2 SDRAM　1GB（1,024MB×1）
	C20、L20、またはW20	DDR2 SDRAM　2GB（1,024MB×2）

❹PC-D-CD□□□□、PC-E-CD□□□□はCD-ROM系（セカンダリマスタ）を表しています（選択必須）。

✓	型　番	CD-ROM系
	BCD1、RCD1、UCD1、またはVCDH	CD-ROM
	BDV1、EDV1、RDV1、またはUDV1	DVD-ROM
	BRD1、RRD1、URD1、またはVRD1	CD-R/RW with DVD-ROM
	BDS1、RDS1、UDS1、またはVDS1	DVDスーパーマルチドライブ

❺PC-D-AC□□□□、PC-E-AC□□□□は筐体アクセントカラーを表しています（タイプME（スリムタワー型）は選択必須、その他はなし）。

✓	型　番	筐体アクセントカラー
	FLE1	ダークブルー
	GLE6	エレガントグリーン
	SLE6	エレガントシルバー

❻次の型番はディスプレイの種類を表しています(選択任意)。

✓	型　番	ディスプレイ
	LCD52VM-V-RL、LCD52VM-V-D、またはLCD52VM-V-L	15型TFTアナログ-LCD(XGA)
	LCD72VM-V-RL、LCD72VM-V-D、またはLCD72VM-V-L	17型TFTアナログ-LCD(SXGA)
	LCD92VM-V-RL、LCD92VM-V-D、またはLCD92VM-V-L	19型TFTアナログ-LCD(SXGA)
	LCD2070WNX-V-RL、LCD2070WNX-V-D、またはLCD2070WNX-V-L	20.1型高精細ワイドTFT-LCD(WSXGA+)

注意　ディスプレイの箱、保証書、銘板、添付のマニュアルには「-RL」、「-D」または「-L」が書かれていませんが、同じ商品です。

❼PC-D-AP□□□□、PC-E-AP□□□□は選択アプリケーションの種類を表しています(選択任意)。

✓	型　番	選択アプリケーション
	SSE8、HSE8、BSE1	Office Personal 2003
	HPEJ、SPE9、BPE1	Office Professional Enterprise 2003

❽PC-D-2H□□□7、PC-E-2H□□□7は増設ハードディスクオプションを表しています(タイプME(スリムタワー型)、タイプMB(スリムタワー型)は選択任意、その他はなし)。

✓	型　番	増設ハードディスクオプション
	SD0	StandbyDisk
	EAD	ミラーリング Serial ATA RAID

❾PC-D-GR□□□□、PC-E-GR□□□□はグラフィックアクセラレータを表しています(タイプME(スリムタワー型)、タイプMB(スリムタワー型)は選択任意、その他はなし)。

✓	型　番	グラフィックアクセラレータ
	ENV1	GeForce 6200 with TurboCache
	DVE6	デジタルディスプレイ用コネクタボード(DVI-D)

注意　GeForce 6200 with TurboCacheを選択した場合、インターフェイスがDVI-Dのデジタル液晶ディスプレイと接続するには、別売の専用コネクター DVI-D(メス)デジタルディスプレイケーブル3(PC-MA-K35)が必要です。

❿PC-D-NE□□□H、PC-E-NE□□□Hは通信機能を表しています(タイプMR(スリムタワー型)は選択任意、その他はなし)。

✓	型　番	通信機能
	MDE	FAXモデム+標準搭載LAN(ギガビットイーサネット)

⑪ PC-D-SP□□□1、PC-E-SP□□□1は再セットアップ用媒体を表しています（選択任意）。

✓	型　番	再セットアップ用媒体
	ECH、またはRCH	再セットアップ用CD-ROM Windows XP Home Editionモデル用
	ECX、またはRCX	再セットアップ用CD-ROM Windows XP Professionalモデル用

⑫ PC-□-SEFEL1はセキュリティ機能を表しています（タイプME（スリムタワー型）、タイプMB（スリムタワー型）は選択任意、その他はなし）。

✓	型　番	セキュリティ機能
	DまたはE	FeliCaポート（外付け）

⑬ PC-D-EX□□□1、またはPC-E-EX□□□1は保証サービスを表しています（選択任意）。

✓	型　番	保証サービス
	4HY	標準保証拡張G3 [4年間翌営業日出張修理]
	3HY	標準保証拡張G3 [3年間翌営業日出張修理]
	4HJ	標準保証拡張G3（Jシリーズ用） [4年間翌営業日出張修理]
	3HJ	標準保証拡張G3（Jシリーズ用） [3年間翌営業日出張修理]

⑭ PC-□-CNEEE1は通信機能・I/Oポートを表しています（タイプME）スリムタワー型）は選択任意、その他はなし）。

✓	型　番	通信機能・I/Oポート
	DまたはE	IEEE1394コネクタ+標準搭載LAN （ギガビットイーサネット）

以上で型番を控えるは完了です。
次のページの「2　添付品の確認」へ進んでください。

2 添付品の確認

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

梱包箱には、このチェックリストに記載されていない注意書きの紙などが入っている場合がありますので、本機をご使用いただく前に必ずご一読ください。また、紛失しないよう、保管には十分気を付けてください。

❶ 箱の中身を確認する

p.2の1またはp.5の1、p.6の2の型番を参照すると、よりわかりやすくなります。

□ は、各々1つにパックされています。

□保証書（本体梱包箱に貼り付けられています）

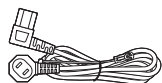
保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

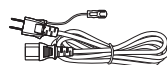
□はじめにお読みください（このマニュアルです）

□本体（ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まないMate、またはMate Jを指します）

□キーボード　□マウス

タイプME（スリムタワー型）、
タイプMB（スリムタワー型）の場合添付

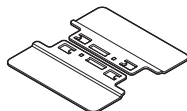
□サービスコンセント付き
　電源コード

タイプMR（スリムタワー型）
の場合添付

□電源コード

□ケーブルストッパ

□ネジ（1個）

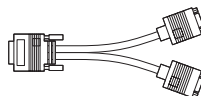
タイプME（スリムタワー型）の場合添付
□スタビライザ（2個）

タイプMR（スリムタワー型）
の場合添付
□スタビライザ（2個）

タイプMB（スリムタワー型）の場合添付
□スタビライザ（2個）

マニュアル

□ソフトウェアのご使用条件（お客様へのお願い）
　（箱の中身を確認後必ずお読みください）
□ソフトウェア使用条件適用一覧/添付ソフトウェアサポート窓口一覧
　（箱の中身を確認後必ずお読みください）
□アプリケーションCD-ROM ／マニュアルCD-ROM
□安全にお使いいただくために
□活用ガイド　再セットアップ編
□保証規定＆修理に関するご案内

グラフィックアクセラレータでGeForce 6200 with TurboCacheを
選択した場合添付（タイプME（スリムタワー型）のみ）

□アナログケーブル
（DualView対応）

FAXモデムを選択した場合添付(タイプMR(スリムタワー型)のみ)

□電話回線ケーブル(モジュラーケーブル)

再セットアップ用媒体を選択した場合添付

□ 再セットアップ用CD-ROM

CD-ROM系の種類でCD-R/RW with DVD-ROM、
またはDVDスーパーマルチドライブを選択した場合添付

□ WinDVD CD-ROM / DigitalMedia / DLA CD-ROM

CD-ROM系の種類でDVD-ROMを選択した場合添付

□ WinDVD CD-ROM

StandbyDiskを選択した場合添付(タイプME(スリムタワー型)、
タイプMB(スリムタワー型)のみ)

□ StandbyDisk 2000-XP Pro v3 CD-ROM
□ ユーザー登録書(シリアル番号の記載があります)

アプリケーションでOffice Personal 2003、
またはOffice Professional Enterprise 2003を
選択した場合添付

マニュアル

□ 選択アプリケーション
Microsoft® Office Personal Edition 2003、または
Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003
添付品は、選択アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。
(p.4 1-❻、またはp.8 2-❼で選択アプリケーションの種類がわかります)

キーボード、マウスで指紋センサ機能付きUSB 109キーボード
を選択した場合添付(タイプME(スリムタワー型)、タイプMB(スリムタワー型)のみ)

マニュアル

□ 指紋センサ(ライン型) ユーザーズガイド

セキュリティ機能を選択した場合添付
（タイプME（スリムタワー型）、タイプMB（スリムタワー型）のみ）

□ FeliCa Secure Client / FeliCaポート自己診断 CD-ROM

□ FeliCaポート（外付け）

保証サービスを選択した場合添付

マニュアル

□ 標準保証拡張G3

❷ディスプレイがセットになったモデルの場合、ディスプレイの箱の中身については、ディスプレイの箱の中のマニュアルで確認する

（p.3 1-❺またはp.8 2-❻でディスプレイのあるなし、種類がわかります。）

❸本体にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

PC-MX XXX…XX

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保証書は大切に保管しておいてください。
なお、フリーセレクション型番の場合は、フレーム型番のみが表示されています。

以上で添付品の確認は完了です。
次のページの「3　設置場所の決定」へ進んでください。

3 設置場所の決定

設置場所を決める

◯ 設置に適した場所

設置に適した場所は次のような場所です。

◆屋内

◆温度10℃～35℃、湿度20%～80%　(ただし結露しないこと)

◆平らで十分な強度があり、落下のおそれがない(机の上など)

✕ 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機(本体とディスプレイ、キーボードなどを含んだMate、またはMate Jを指します)の故障や破損の原因となります。

◆磁気を発生するもの(扇風機、スピーカなど)や磁気を帯びているものの近く

◆直射日光があたる場所

◆暖房機の近く

◆薬品や液体の近く

◆腐食性ガス(オゾンガスなど)が発生する場所

◆テレビ、ラジオ、コードレス電話、携帯電話、他のディスプレイなどの近く

◆人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

◆ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

◆ホコリが多い場所

◆本体背面および側面にある通風孔がふさがる場所

◆ディスプレイの通風孔がふさがる場所

◆テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

設置場所が決まったら……

設置する場所が決まったら、本機の設置と添付品の接続を行うため、次の点を確認してください。

- 本機は精密機器ですから、慎重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因となります。
- 本体およびディスプレイの接続部は、背面にまとまっています。いきなり壁際に本体およびディスプレイを置いてしまうと、うまく接続できません。机などの裏側に回って接続できるような場所を選んでください。
- 通風孔をふさがないようにできるだけ15cm以上のスペースを確保してください。また、キーボードやマウスが余裕を持って操作できる場所も必要です。
- 横置きで使用する場合は、ゴム足がある方を下にして設置してください。また、本体の上に約20kgまでのディスプレイなどを置くことができます。
  なお、ディスプレイや書類などで、通風孔をふさがないでください。

本機を移動するときは……

本機に接続している、全てのケーブル、コード(電源コード、アース線など)を取り外してください。本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面を持ってください。また、移動中に壁などにぶつけたりすると故障や破損の原因となりますので、大切に取り扱ってください。

以上で設置場所の決定は完了です。
次のページの「4　添付品の接続」へ進んでください。

4 添付品の接続

接続するときの注意

- **LANケーブル(別売)は接続しない**
  LANケーブルは、本機を安全にネットワークに接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続するようにしてください。
- **本機を接続するときは、コネクタの端子に触れない**
  故障の原因となります。

タイプME(スリムタワー型)の場合

1. スタビライザの取り付け

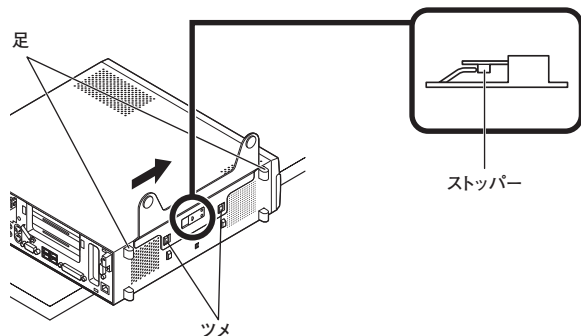
本機には、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタビライザという脚が添付されています。梱包箱から出したままの状態では、スタビライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場合は、転倒防止のため、必ず❶か❷のいずれかの方法でスタビライザを取り付けて設置してください。
また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザをセットする必要はありません。
横置きで使用する場合は、p.17「2.マウス、キーボードを接続する」へ進んでください。

❶ スタビライザを2つ取り付ける場合

①机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

この場合、机やテーブルなどを傷付けたりしないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

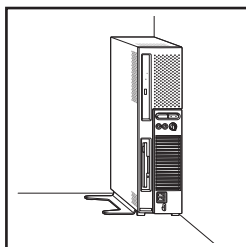
②片方のスタビライザを本体のツメと足に合わせ、スタビライザを矢印方向にストッパがロックされるまでスライドさせる

スタビライザを本体に取り付けるときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。

③もう一方のスタビライザも②と同じ方法で取り付ける

❷スタビライザを1つ取り付ける場合

次のように、本体の右側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、左側にスタビライザを1つ取り付けることで設置することができます。

本体の左側に通風孔があるため、壁などでふさがないように設置してください。

p.16「❶スタビライザを2つ取り付ける場合」と同じ方法で、左側に1つ取り付ける

1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、必ず反対側の側面を壁などに付けて使用してください。

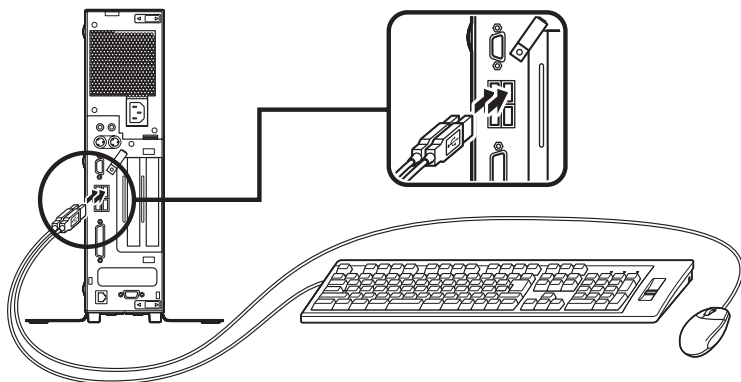
2. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、❶～❸のいずれかで接続してください。

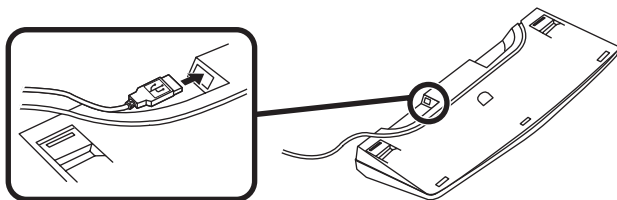
※ 本体背面に接続する場合、ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。
ケーブルストッパの使い方は、『活用ガイド　ハードウェア編　タイプME(スリムタワー型)、タイプMB(スリムタワー型)、タイプMR(スリムタワー型)』の「PART3　周辺機器の利用(タイプME(スリムタワー型))」の「ケーブルストッパ」をご覧ください。

❶ 指紋センサ機能付きUSB 109キーボードを接続する場合

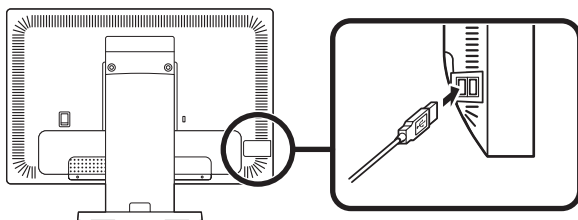
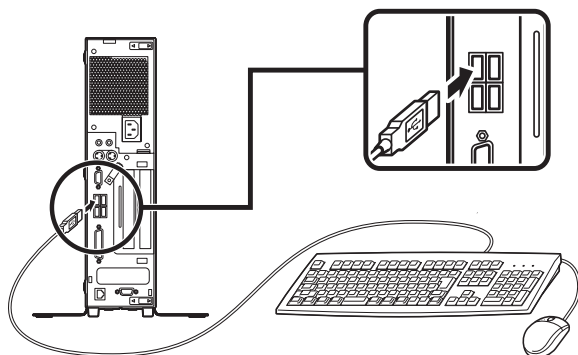
添付のマウス、キーボードを本体のUSBコネクタにそれぞれ接続する

指紋センサ機能付きUSB 109キーボードは、外部ハブを挟んで接続しないでください。

❷ USB 109キーボードを接続する場合

①添付のマウスをキーボードに接続する

マウスは、本体のUSBコネクタには接続しないでください。

②キーボードを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタに接続する

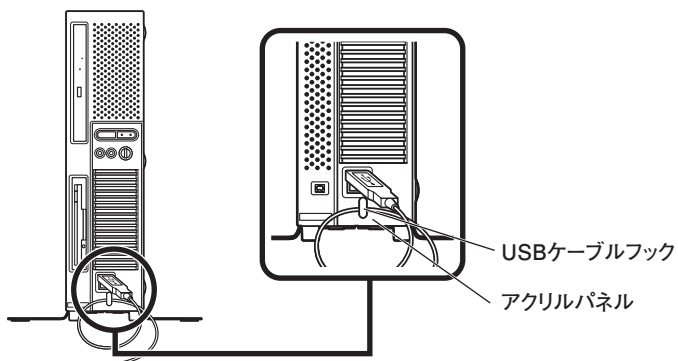
■液晶ディスプレイに接続する場合

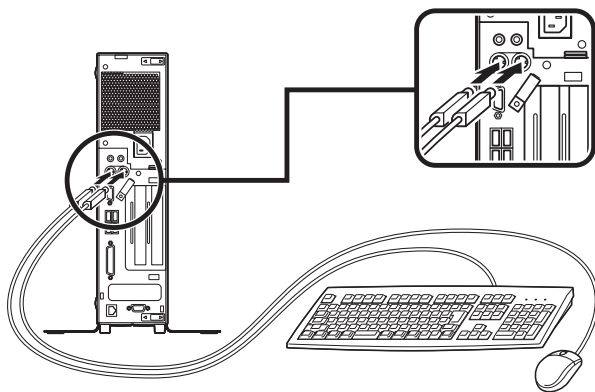
ここではディスプレイ(LCD2070WNX-V)がセットになった場合を例に説明します。
液晶ディスプレイの側面にある2つのUSBコネクタの、どちらを使用しても構いません。

■本体(背面)に接続する場合

■本体(前面)に接続する場合

USBケーブルフックにキーボードのケーブルを引っ掛けてから、USBコネクタに接続する

※USBケーブルフックを利用すると、USBケーブルの抜け防止に役立ちます。

> アクリルパネルやUSBケーブルフックは、誤ってキーボードのケーブルを強く引くと過度の力がかかり、破損する場合があります。

❸ テンキー付きPS/2小型キーボード、またはPS/2 109キーボードを接続する場合（ここではPS/2 109キーボードを例に説明します）

添付のマウス（緑）、キーボード（紫）を、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する

3.ディスプレイを接続する

ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

お使いのディスプレイにより、❶または❷のいずれかの方法で接続してください。

デュアルディスプレイ機能を使用する場合は、「アナログ液晶ディスプレイを接続する場合」をご覧になり、一台目のディスプレイを接続してください。二台目のディスプレイは必ずWindowsのセットアップを終了させてから「7　マニュアルの使用方法」までの作業を行い、「8　使用する環境の設定と上手な使い方」の「6.液晶ディスプレイを二台接続して使用する」をご覧になり、接続してください。

❶アナログ液晶ディスプレイを接続する場合

ここでは、ディスプレイ(LCD2070WNX-V)がセットになった場合を例に説明します。

GeForce 6200 with TurboCache(以下、GeForce 6200 TCとします)を選択した場合は、①〜⑤の順番に接続してください。

GeForce 6200 TCを選択しない場合、③〜⑤の順番に接続してください。

①ディスプレイの背面につながっているアナログRGBケーブルのコネクタを、添付されているアナログケーブル(DualView用)のコネクタに接続する

アナログケーブル(DualView用)にある2つのコネクタの、1側から使用してください。

②アナログRGBケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

③GeForce 6200 TCを選択した場合は、アナログケーブル(DualView用)のもう一方のコネクタを、アイコン(⎍)とコネクタの形状を確認し、本体のGeForce 6200 TCのコネクタに接続する
GeForce 6200 TCを選択しない場合は、ディスプレイの背面につながっているアナログRGBケーブルのコネクタを、アイコン(▭)とコネクタの形状を確認し、本体のアナログRGBコネクタに接続する

④アナログケーブル(DualView用)、またはアナログRGBケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

⑤本体とアナログ液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。

❷ デジタル液晶ディスプレイを接続する場合

ここでは、ディスプレイ(LCD2070WNX-V)がセットになった場合を例に説明します。

① ディスプレイの背面につながっているDVIケーブルのコネクタを、アイコン(⎍)とコネクタの形状を確認し、本体のDVI-Dコネクタに接続する

② DVIケーブルのコネクタに付いているネジでしっかりネジ止めする

③ 本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。

4. アース線、電源コードを接続する

次のページのイラストを見てアース線、電源コードを接続してください。

❶ ディスプレイの電源コードのプラグをサービスコンセント付き電源コードに差し込む

次のページのイラストはアナログ液晶ディスプレイ（LCD2070WNX-V）がセットになった場合です。ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

❷ 本体の電源コードを接続する

①本体にサービスコンセント付き電源コードを接続する

②コンセントのアース端子にアース線を接続する

アース端子部分にはキャップが付いています。接続するときに取り外してください。

③サービスコンセント付き電源コードのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れる場合がありますが、故障ではありません。

以上で添付品の接続は完了です。

p.39「5　Windowsのセットアップ」へ進んでください。

タイプMB(スリムタワー型)の場合

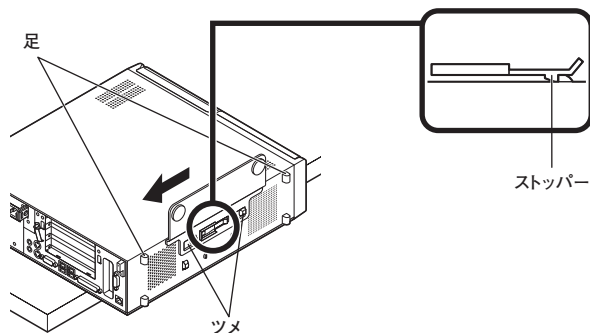
1. スタビライザの取り付け

本機には、本体を使用する場合に、安定して設置するためのスタビライザという脚が添付されています。梱包箱から出したままの状態では、スタビライザは本体に取り付けられていません。転倒防止のため、必ず次の方法でスタビライザを取り付けて設置してください。

①机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

この場合、机やテーブルなどを傷付けたりしないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

②片方のスタビライザを本体のツメに合わせ、スタビライザを矢印方向にストッパがロックされるまでスライドさせる

スタビライザを本体に取り付けるときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。

③もう一方のスタビライザも②と同じ方法で取り付ける

2. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、❶～❸のいずれかで接続してください。

※ 本体背面に接続する場合、ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。
ケーブルストッパの使い方は、『活用ガイド　ハードウェア編　タイプME(スリムタワー型)、タイプMB(スリムタワー型)、タイプMR(スリムタワー型)』の「PART4　周辺機器の利用(タイプMB(スリムタワー型))」の「ケーブルストッパ」をご覧ください。

❶ 指紋センサ機能付きUSB 109キーボードを接続する場合

添付のマウス、キーボードを本体のUSBコネクタにそれぞれ接続する

指紋センサ機能付きUSB 109キーボードは、外部ハブを挟んで接続しないでください。

❷ USB 109キーボードを接続する場合

①添付のマウスをキーボードに接続する

マウスは、本体のUSBコネクタには接続しないでください。

②キーボードを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタに接続する

■液晶ディスプレイに接続する場合

ここではディスプレイ(LCD2070WNX-V)がセットになった場合を例に説明します。
液晶ディスプレイの側面にある2つのUSBコネクタの、どちらを使用しても構いません。

■本体(背面)に接続する場合

❸ テンキー付きPS/2小型キーボード、またはPS/2 109キーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キーボードを例に説明します)

添付のマウス(緑)、キーボード(紫)を、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する

3.ディスプレイを接続する

ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

お使いのディスプレイにより、❶または❷のいずれかの方法で接続してください。

❶ アナログ液晶ディスプレイを接続する場合

ここでは、ディスプレイ(LCD2070WNX-V)がセットになった場合を例に説明します。

①ディスプレイの背面につながっているアナログRGBケーブルのコネクタを、アイコン(▭)とコネクタの形状を確認し、本体のアナログRGBコネクタに接続する

②アナログRGBケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

③本体とアナログ液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。

❷デジタル液晶ディスプレイを接続する場合

ここでは、ディスプレイ（LCD2070WNX-V）がセットになった場合を例に説明します。

①ディスプレイの背面につながっているDVIケーブルのコネクタを、アイコン（）とコネクタの形状を確認し、本体のDVI-Dコネクタに接続する

②DVIケーブルのコネクタに付いているネジでしっかりネジ止めする

③本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。

4. アース線、電源コードを接続する

次のページのイラストを見てアース線、電源コードを接続してください。

❶ ディスプレイの電源コードのプラグをサービスコンセント付き電源コードに差し込む

次のページのイラストはアナログ液晶ディスプレイ(LCD2070WNX-V)がセットになった場合です。ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

❷ 本体の電源コードを接続する

①本体にサービスコンセント付き電源コードを接続する

②コンセントのアース端子にアース線を接続する

アース端子部分にはキャップが付いています。接続するときに取り外してください。

③サービスコンセント付き電源コードのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れる場合がありますが、故障ではありません。

以上で添付品の接続は完了です。
p.39「5　Windowsのセットアップ」へ進んでください。

タイプMR(スリムタワー型)の場合

1. スタビライザの取り付け

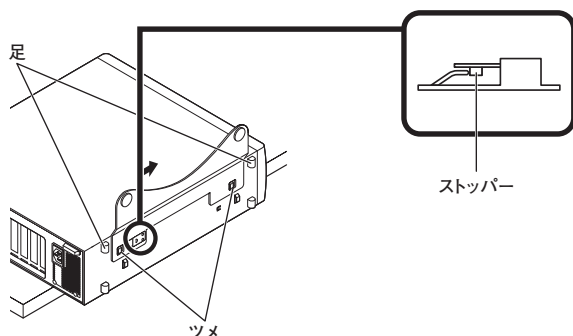
本機には、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタビライザという脚が添付されています。梱包箱から出したままの状態では、スタビライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場合は、転倒防止のため、必ず❶か❷のいずれかの方法でスタビライザを取り付けて設置してください。
また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザをセットする必要はありません。
横置きで使用する場合は、p.35「2.マウス、キーボードを接続する」へ進んでください。

❶ スタビライザを2つ取り付ける場合

①机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

この場合、机やテーブルなどを傷付けたりしないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

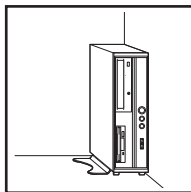
②片方のスタビライザを本体のツメと足に合わせ、スタビライザを矢印方向にストッパがロックされるまでスライドさせる

> スタビライザを本体に取り付けるときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。

③もう一方のスタビライザも②と同じ方法で取り付ける

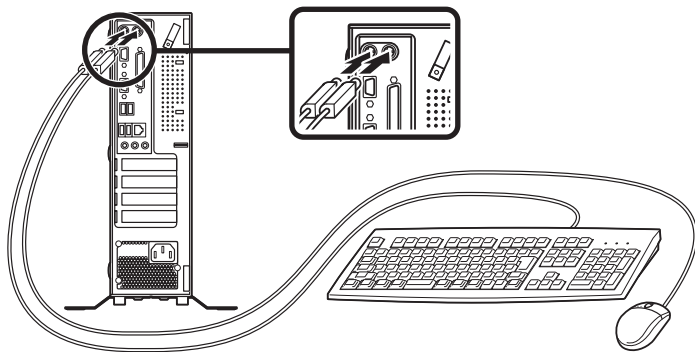
❷ スタビライザを1つ取り付ける場合

次のように、本体の右側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、左側にスタビライザを1つ取り付けることで設置することができます。

本体の左側に通風孔があるため、壁などでふさがないように設置してください。

p.34「❶スタビライザを2つ取り付ける場合」と同じ方法で、左側に1つ取り付ける

1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、必ず反対側の側面を壁などに付けて使用してください。

2. マウス、キーボードを接続する

添付のマウス(緑)、キーボード(紫)を、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する

※ケーブルストッパを利用すると、キーボード、マウスの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。
ケーブルストッパの使い方は、『活用ガイド　ハードウェア編　タイプME(スリムタワー型)、タイプMB(スリムタワー型)、タイプMR(スリムタワー型)』の「PART5　周辺機器の利用(タイプMR(スリムタワー型))」の「ケーブルストッパ」をご覧ください。

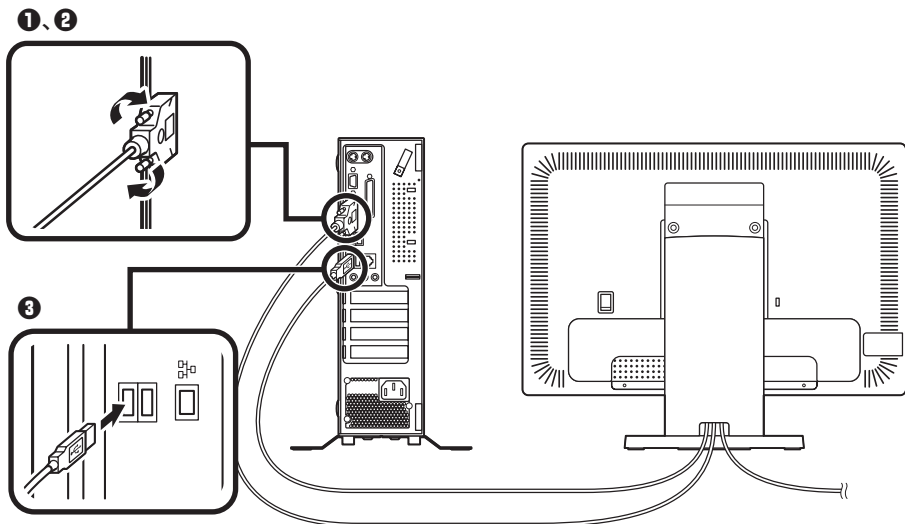
3. ディスプレイを接続する

ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。
ここでは、ディスプレイ（LCD2070WNX-V）がセットになった場合を例に説明します。
❶～❸の順番に接続してください。

❶ ディスプレイの背面につながっているアナログRGBケーブルのコネクタを、アイコン（▭）とコネクタの形状を確認し本体のアナログRGBコネクタに接続する

❷ アナログRGBケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

❸ 液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体と液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。

4. アース線、電源コードを接続する

次のページのイラストを見てアース線、電源コードを接続してください。

❶ディスプレイの電源コードのプラグを壁などのコンセントに差し込む

次のページのイラストはディスプレイ(LCD2070WNX-V)がセットになった場合です。ディスプレイの電源コードの接続については、ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

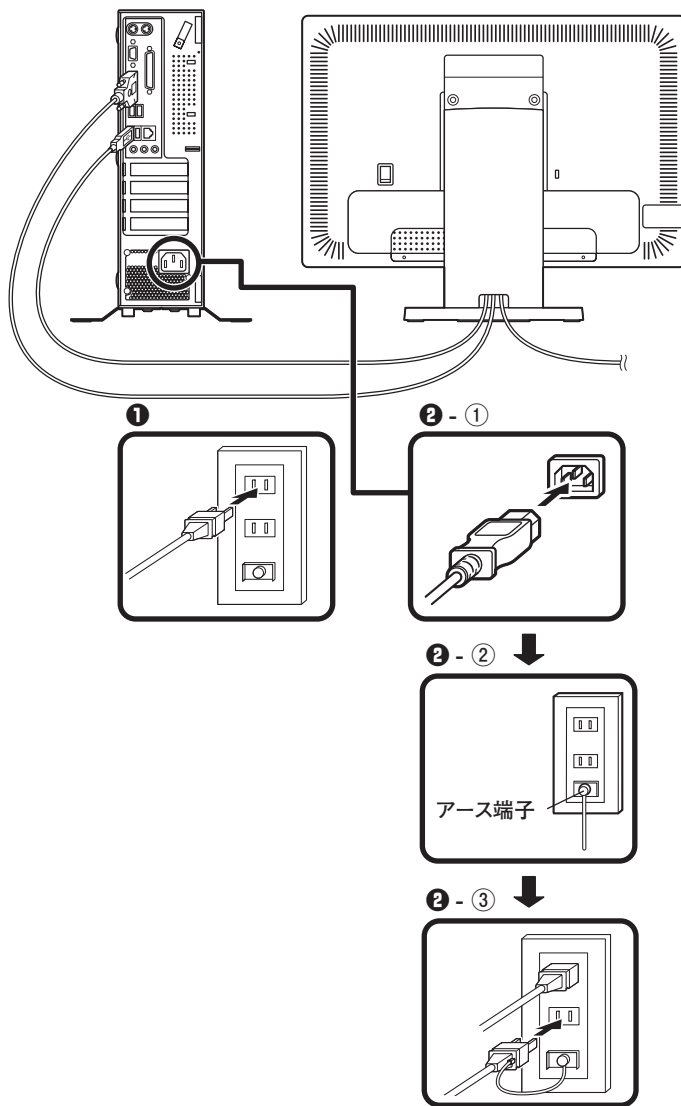
❷本体の電源コードを接続する

①本体に電源コードを接続する

②コンセントのアース端子にアース線を接続する

アース端子部分にはキャップが付いています。接続するときに取り外してください。

③電源コードのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れる場合がありますが、故障ではありません。

以上で添付品の接続は完了です。
次のページの「5　Windowsのセットアップ」へ進んでください。

5 Windowsのセットアップ

初めて本機の電源を入れるときは、Windowsセットアップの作業が必要です。

Windowsのセットアップの途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源コードを引き抜いたりすると、故障の原因になります。

セットアップをするときの注意

- **周辺機器は接続しない**
  この作業が終わるまでは、「4　添付品の接続」で接続した機器以外の周辺機器(プリンタや増設メモリなど)の取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒にご購入された場合は、先に「5　Windowsのセットアップ」から「8　使用する環境の設定と上手な使い方」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。

- **LANケーブル(別売)は接続しない**
  LANケーブルは、本機を安全にネットワークに接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続するようにしてください。

- **システム設定を変更しない**
  Windowsのセットアップが終了するまではシステム設定を変更しないでください。システム設定を変更すると、Windowsのセットアップが正常に終了しない場合があります。

- **途中で電源を切らない**
  途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありませんので、慌てずに手順通り操作してください。

- **セットアップ中は放置しない**
  Windowsのセットアップが終了し、いったん電源を切るまでセットアップ中でキー操作が必要な画面を含み、本機を長時間放置しないでください。

障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、p.45「セットアップ中のトラブル対策」をご覧ください。

セットアップを始める前の準備

Windowsセットアップ中に本機を使う人の名前を入力する必要があります。登録する名前を決めておいてください。

電源を入れる

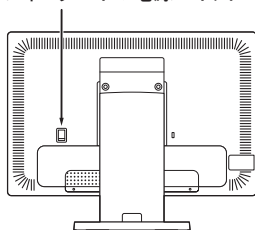
必ず❶、❷の順番に従って、正しく電源を入れてください。

❶ディスプレイの電源を入れる

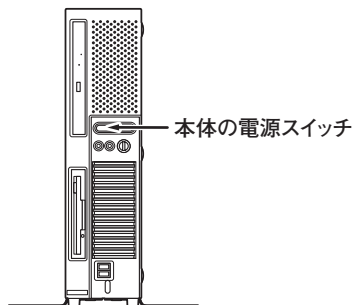
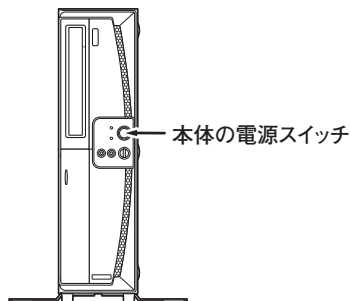
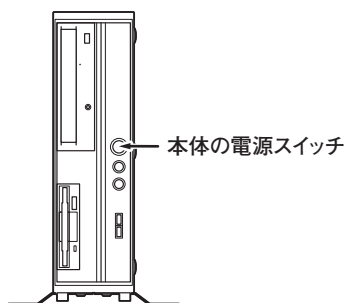
ディスプレイの電源スイッチの位置は、ディスプレイに添付のマニュアルを参照してください。

チェック!!

液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け※(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。
また、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。
これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
※:社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)のガイドラインに従い、ドット抜けの割合を「付録」の「仕様一覧」に記載しています。ガイドラインの詳細については、以下のWEBサイトをご覧ください。
「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドライン」
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503dot/index.html

■ アナログ液晶ディスプレイ(LCD2070WNX-V)の場合

❷本体の電源を入れる

タイプME（スリムタワー型）、およびタイプMB（スリムタワー型）の場合、工場出荷時の状態では、音量が最小になっていますので、内蔵スピーカボリュームで音量を調整してください。

■ タイプME（スリムタワー型）の場合

■ タイプMB（スリムタワー型）の場合

■ タイプMR（スリムタワー型）の場合

セットアップの作業手順

以降は、お買い上げいただいたオペレーティングシステムに従って、次のページの「1.Windows XP Professionalのセットアップ」、またはp.43「2.Windows XP Home Editionのセットアップ」に進んでください。

1. Windows XP Professionalのセットアップ

Windows XP Professionalのセットアップを開始します。

- これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- 「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- お使いのモニタによっては、セットアップ中に画面が一部黒く表示される箇所がありますが、動作上問題ありません。
- 手順④～⑦の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」画面を確認する

をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

❸内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

(同意しない場合、セットアップは続行できません)

❹「コンピュータを保護してください」画面が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」、または「後で設定します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❺「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

❻「管理者パスワードを設定してください」画面が表示されたら、管理者パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック

❼「このコンピュータをドメインに参加させますか？」画面が表示された場合は、「いいえ」、または「はい」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❽「インターネットを確認しています」画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

❾「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

⑩「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー 1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

⑪「設定が完了しました」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

⑫「Windowsの設定が完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

⑬「スタート」ボタンをクリックし、「終了オプション」をクリック

⑭「電源を切る」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

⑮ディスプレイの電源を切る

以上で、Windowsのセットアップは完了です。
本機を安全にネットワークに接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。
p.46「LANケーブルの接続」へ進んでください。

2. Windows XP Home Editionのセットアップ

Windows XP Home Editionのセットアップを開始します。

- これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- 「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- 手順④、⑤の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」画面を確認する

をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

❸ **内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック**

（同意しない場合セットアップは続行できません）

❹ **「コンピュータを保護してください」画面が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」、または「後で設定します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック**

❺ **「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック**

❻ **「インターネットを確認しています」画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック**

❼ **「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック**

❽ **「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック**

ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

❾ **「設定が完了しました」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック**

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

❿ **「Windowsの設定が完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック**

⓫ **「スタート」ボタンをクリックし、「終了オプション」をクリック**

⓬ **「電源を切る」ボタンをクリック**

自動的に電源が切れます。

⓭ **ディスプレイの電源を切る**

以上で、Windowsのセットアップは完了です。
本機を安全にネットワークに接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。
p.46「LANケーブルの接続」へ進んでください。

セットアップ中のトラブル対策

◎ 電源スイッチを押しても電源が入らない

- **電源コードの接続が不完全である事が考えられるので、一度電源コードをコンセントから抜き、本体と電源コードがしっかり接続されていることを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込む**
  電源コードを接続し直しても電源が入らない場合は、本体の故障が考えられますので、ご購入元にご相談ください。

◎ セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

- **電源を入れて、表示される画面をチェックする**
  CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セットアップを続行することができます(CHKDSKは実行されない場合もあります)。
  セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。エラーメッセージが表示された場合は、システムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windowsは起動しません。Windowsを再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。
  再セットアップについては、『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

◎ セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

- **パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して、強制的に終了する**
  いったん電源を切った後で電源を入れ直す場合は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけて電源を入れてください。また、電源コードを抜いたり、ブレーカーなどが落ちて電源が切れた場合は、30秒以上間隔をあけてから、電源を入れてください。その後、上記の「・電源を入れて、表示される画面をチェックする」をご覧ください。

本機を安全にネットワークに接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。
次のページの「LANケーブルの接続」へ進んでください。

LANケーブルの接続

1. 本機を安全にネットワークに接続するために

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最新のセキュリティ環境に更新する必要があります。
LANケーブル(別売)を使用して本機を安全にネットワークに接続させるために、以下の対策を行うことを強く推奨します。

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってLANケーブルなどの接続を行ってください。

❶ ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスの中には、ネットワークに接続しただけで感染してしまう例も確認されていますので、ファイアウォールを利用することを推奨します。

本機にインストールされているOSでは標準で「Windowsファイアウォール」機能が有効になっています。
「Windowsファイアウォール」について、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

❷ Windows Update、またはMicrosoft Update

最新かつ重要なセキュリティの更新情報が提供されています。ネットワークに接続後、Windowsを最新の状態に保つために、Windows Update、またはMicrosoft Updateで「優先度の高い更新プログラム」の更新を定期的に実施してください。

Windows Updateについて、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

Microsoft Updateについては、詳しくはマイクロソフト サポート技術情報-902296をご覧ください。

参照 **マイクロソフトのサポート技術情報について**
「Microsoft Updateを利用するには」
http://support.microsoft.com/kb/902296/ja/

❸ ウイルス対策アプリケーションの利用

本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーション(ウイルスバスター)が添付されています。

コンピュータウイルスから本機を守るために、ウイルスバスターをインストールすることを推奨します。

ウイルスバスターはインストールした環境のまま使用し続けた場合、十分な効果は得られません。日々発見される新種ウイルスに対応するためウイルスパターンファイルを最新の状態にする必要があります。

ウイルスパターンファイルの無償提供期間はアップデート機能の有効化後、90日間です。
引き続きお使いになる場合は、ウイルスバスターのウイルスパターンファイルなどを1年間更新できる権利を購入する必要があります。

ウイルスバスターについて、詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「ウイルスバスター」をご覧ください。

メモ

Windows XPのセキュリティ機能(Windowsセキュリティセンター)では、Windowsファイアウォール、Windows Updateの自動更新、ウイルス対策アプリケーションが有効になっているかどうかをリアルタイムで監査し、無効になっている場合は画面に警告を表示します。

LANケーブルを接続します。
次の「2.LANケーブル(別売)を接続する」へ進んでください。

2. LANケーブル(別売)を接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

稼働中のLANに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってLANケーブルの接続を行ってください。

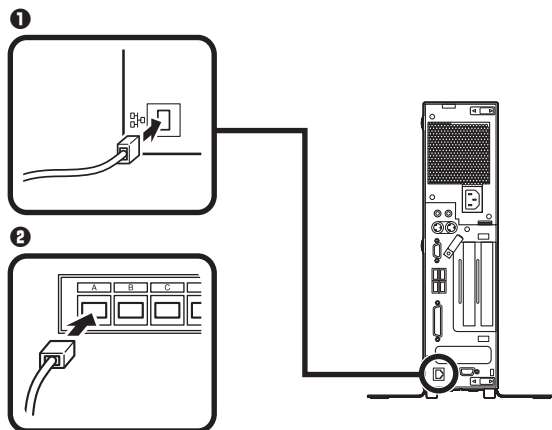
タイプME(スリムタワー型)の方はp.48を、タイプMB(スリムタワー型)の方はp.49を、タイプMR(スリムタワー型)の方はp.50をご覧ください。

■タイプME(スリムタワー型)の場合

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、LANケーブル(別売)を使い、次の手順で接続します。

❶LANケーブルのコネクタを本体のアイコン( )に従って接続する

❷ハブなどのネットワーク機器に、LANケーブルのもう一方を接続する

※LANの設定については、『活用ガイド　ハードウェア編　タイプME(スリムタワー型)、タイプMB(スリムタワー型)、タイプMR(スリムタワー型)』の「PART 1　本体の構成各部」の「LAN(ローカルエリアネットワーク)」をご覧ください。

以上でLANケーブルの接続は完了です。

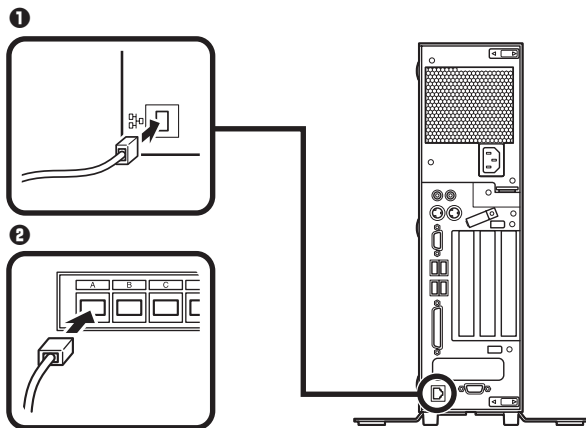
p.52「3. パターンファイルのアップデート」へ進んでください。

■タイプMB(スリムタワー型)の場合

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、LANケーブル(別売)を使い、次の手順で接続します。

❶ LANケーブルのコネクタを本体のアイコン( )に従って接続する

❷ ハブやスイッチに、LANケーブルのもう一方を接続する

※LANの設定については、『活用ガイド　ハードウェア編　タイプME(スリムタワー型)、タイプMB(スリムタワー型)、タイプMR(スリムタワー型)』の「PART 1　本体の構成各部」の「LAN(ローカルエリアネットワーク)」をご覧ください。

以上でLANケーブルの接続は完了です。
p.52「3. パターンファイルのアップデート」へ進んでください。

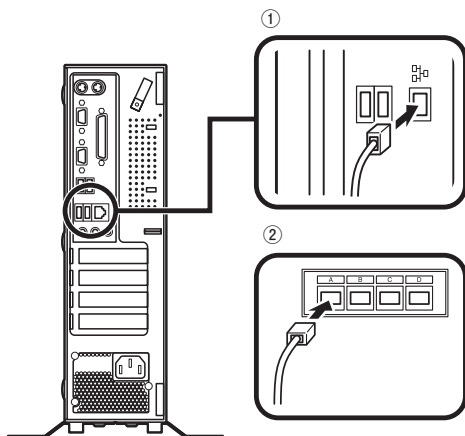
■タイプMR（スリムタワー型）の場合

LAN（ローカルエリアネットワーク）に接続するときは、LANケーブル（別売）を使い、❶の手順で接続します。
FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、電話回線ケーブルを使い、❷の手順で接続します。

❶LANケーブル（別売）を接続する場合

① LANケーブルのコネクタを本体のアイコン（品）に従って接続する

② ハブなどのネットワーク機器に、LANケーブルのもう一方のコネクタを接続する

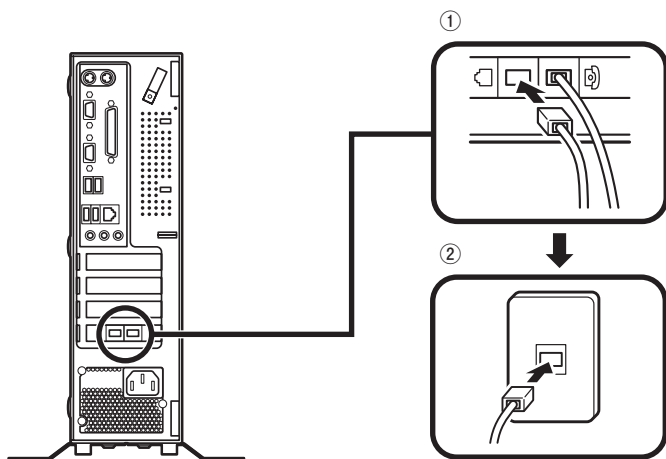
※LANの設定については、『活用ガイド　ハードウェア編　タイプME（スリムタワー型）、タイプMB（スリムタワー型）、タイプMR（スリムタワー型）』の「PART1　本体の構成各部」の「LAN（ローカルエリアネットワーク）」をご覧ください。

以上でLANケーブルの接続は完了です。
p.53「6　お客様登録」へ進んでください。

❷電話回線ケーブルを接続する場合

- 端末機器の設計についての認証（技術基準適合認定）は電話回線で受けています。
- FAXモデムボードに接続できる電話回線は2線式のみです。電話機の種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。
- FAXモデムボードの詳細については、セットアップ完了後に『活用ガイド　ハードウェア編　タイプME（スリムタワー型）、タイプMB（スリムタワー型）、タイプMR（スリムタワー型）』の「PART1　本体の構成各部」の「モデム」をご覧ください。

① **電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン（☎）に従って接続し、電話回線ケーブルの一方のコネクタを本体のアイコン（　）に従って接続する**

② **電話回線コンセントに、電話回線ケーブルのもう一方のコネクタを接続する**

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。

以上で電話回線ケーブルの接続は完了です。
p.53「6　お客様登録」へ進んでください。

3. パターンファイルのアップデート

本機(RAIDモデル、タイプMR(スリムタワー型)を除く)ではWindows起動前にウイルスバスターのウイルスパターンファイルをアップデートできるAlways アップデートエージェントがインストールされています。
ウイルス感染の危険性をより低減させるため、Windowsを起動させる前にパターンファイルのアップデートをおすすめします。
Always アップデートエージェントの設定方法については、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Always アップデートエージェント」をご覧ください。

以上でLANケーブルの接続は完了です。
次のページの「6　お客様登録」へ進んでください。

6 お客様登録

本製品のお客様登録はInternet Explorerの「お気に入り」メニューにある「NEC 8番街 (お客様登録)」からインターネットによる登録を行ってください(登録料、会費は無料です)。

メモ

- Mate Jをお使いの場合は、デスクトップにある「NEC 8番街 (お客様登録)」からでも、登録することができます。
- Microsoft社に対するユーザー登録は、「ユーザー登録ウィザード」で行うことができます。「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」を選択し、「名前」に「regwiz /r」と入力してください。ユーザー登録についての詳細は「ヘルプとサポート」、またはWindowsのヘルプをご覧ください。

以上でお客様登録は完了です。
次の「7　マニュアルの使用方法」へ進んでください。

7 マニュアルの使用方法

本機に添付、またはCD-ROM(「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」)に格納されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読みください。
また、マニュアル類はなくさないようにご注意ください。マニュアル類をなくした場合は『活用ガイド　ソフトウェア編』の「トラブル解決Q&A」の「その他」をご覧ください。

マニュアルの使用方法

※印のマニュアルは、「Mate/Mate J 電子マニュアル」として「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に入っています。「Mate/Mate J 電子マニュアル」の使用方法については、p.55「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。

●『安全にお使いいただくために』

本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用する前に必ずお読みください。

●『活用ガイド　再セットアップ編』

本機のシステムを再セットアップするときにお読みください。

●『活用ガイド　ハードウェア編　タイプME(スリムタワー型)、タイプMB(スリムタワー型)、タイプMR(スリムタワー型)』　※

本体の各部の名称と機能、内蔵機器の増設方法、システム設定(BIOS設定)について確認したいときにお読みください。

●『活用ガイド　ソフトウェア編』　※

アプリケーションの概要と削除/追加、ハードディスクのメンテナンスをするとき、他のOSをセットアップする(Mate JではプリインストールされているOS以外は使用できません)とき、またはトラブルが起きたときにお読みください。

●ディスプレイのユーザーズマニュアル

・ 液晶ディスプレイがセットになったモデルの場合は、ディスプレイに添付されています(p.2「1　型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際に、必ずお読みください。
・ 液晶ディスプレイのUSBハブが正常に接続されていることの確認については、次の手順で「デバイスマネージャ」から「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」を開き、以下のいずれかになっていることを確認してください。

❶「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」をクリック

❷「システムのタスク」の「システム情報を表示する」をクリック

❸「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリック

❹「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」をダブルクリック

■USB接続のキーボードをお使いの場合

「NEC USB Hub」が2つ表示されている、または「NEC USB Hub」と「汎用USBハブ」が表示されている

■PS/2接続のキーボードをお使いの場合

「NEC USB Hub」が表示されている

●選択アプリケーションのマニュアル

Office Personal 2003、またはOffice Professional Enterprise 2003を選択した場合、マニュアルが添付されています(p.2「1　型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

●『指紋センサ(ライン型)　ユーザーズガイド』

モデルによって、『指紋センサ(ライン型)　ユーザーズガイド』が添付されています(p.2「1 型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

●『セキュリティチップ ユーティリティ マニュアル』　※

本機のセキュリティチップ機能について確認したいときにお読みください。

●『保証規定＆修理に関するご案内』

パソコンに関する相談窓口、保証期間と保証規定の詳細内容およびQ＆A、有償保守サービス、お客様登録方法、NECビジネスPC/Express5800情報発信サイト「NEC 8番街」について知りたいときにお読みください。

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用にMicrosoft関連商品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

http://www.microsoft.com/japan/info/press/

電子マニュアルの使用方法

電子マニュアルを使用する場合は、次の手順で起動してご覧ください。

❶ CD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブに、本機に添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」をセットする

❷「エクスプローラ」、または「マイコンピュータ」を開く

❸ CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリック

❹「_manual」フォルダをダブルクリックし、「index」ファイルをダブルクリック

「Mate/Mate J 電子マニュアル」が表示されます。

PDF形式のマニュアル(ファイル)をご覧いただくときの補足事項

あらかじめ、本機にAdobe Readerをインストールしておく必要があります。詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Adobe Reader」をご覧ください。

メモ

・ 必要に応じて「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用ください。

「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用の際、フォルダ名・ファイル名などは変更しないでください。コピー先のフォルダ名はすべて英数字の半角文字である必要があります。それ以外の文字(「デスクトップ」などの日本語)のフォルダ名にコピーすると起動することができなくなります。

・ Windowsが起動しなくなったなどのトラブルが発生した場合は、電子マニュアルをご覧になることができません。そのため、あらかじめ「トラブル解決Q&A」を印刷しておくと便利です。

・ NECビジネスPC/Express5800情報発信サイト「NEC 8番街」では、NEC製のマニュアルを電子マニュアル化し、ダウンロードできるサービスを行っております。

http://nec8.com/

「サポート情報」→「ダウンロード・マニュアル」の「製品マニュアル」にある「PC98-NXシリーズ電子マニュアルビューア」から電子マニュアルビューアをご覧ください。

また、NEC PCマニュアルセンターでは、マニュアルの販売を行っています。

http://pcm.mepros.com/

以上でマニュアルの使用方法は完了です。

次のページの「8　使用する環境の設定と上手な使い方」へ進んでください。

8 使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用･管理する上で便利な機能を設定します。機能の詳細や設定方法については、『活用ガイド　ハードウェア編　タイプME(スリムタワー型)、タイプMB(スリムタワー型)、タイプMR(スリムタワー型)』、『活用ガイド　ソフトウェア編』、および『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

1. 最新の情報を読む

補足説明

補足説明には、本製品のご利用にあたって注意していただきたいことや、マニュアルには記載されていない最新の情報について説明していますので、削除しないでください。以下の方法でお読みください。

- 「Mate/Mate J 電子マニュアル」を起動して「補足説明」をクリック
- 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「補足説明」をクリック

2.「再セットアップ用CD-ROM」の作成について

「再セットアップ用CD-ROM」の作成機能については、出荷時の製品構成でのみサポートしております。

「再セットアップ用CD-ROM」を作成する場合は、必ずService Packの変更、DigitalMediaのアップデート前、StandbyDiskのインストール前に行ってください。

「再セットアップ用CD-ROM」作成についての詳細は『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

3.「再セットアップ領域」内にある再セットアップ用データの削除について

「再セットアップ領域」内にある再セットアップ用データの削除は、StandbyDiskのインストール前に行ってください。

「再セットアップ領域」内にある再セットアップ用データの削除についての詳細は『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

4. Windows XP のService Packについて

本機にはService Pack 2がインストールされています。

Service Pack 2を削除することにより、使用できなくなる機能、機器がありますので、Service Pack 2を削除する場合は十分に注意してください(使用できなくなる機能、機器についての詳細は『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「「Service Pack」について」をご覧ください)。

5. ハイパースレッディング・テクノロジーについて

MY30V/E-1、MJ30V/E-1、MY30V/R-1またはMJ30V/R-1をお使いの場合、ハイパースレッディング・テクノロジーを使用することができます。工場出荷時の状態ではこの設定は無効になっています。有効にするにはシステム設定の変更が必要です(有効に変更後、再度無効に変更する場合はシステム設定の変更後、本機を再セットアップする必要があります)。
システム設定の変更については『活用ガイド　ハードウェア編』、再セットアップ方法については『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

6. 液晶ディスプレイを二台接続して使用する

デュアルディスプレイ機能について

タイプME(スリムタワー型)でGeForce 6200 TCを選択した場合、アナログ液晶ディスプレイを二台接続して使用することができます。電源が入っている場合は、電源を切り、「4　添付品の接続」の「3.ディスプレイを接続する」の「❶アナログ液晶ディスプレイを接続する場合」をご覧になり、一台目のディスプレイと同様の手順で、二台目のディスプレイを接続してください。デュアルディスプレイ機能の設定については、『活用ガイド　ハードウェア編　タイプME(スリムタワー型)、タイプMB(スリムタワー型)、タイプMR(スリムタワー型)』の「PART1　本体の構成各部」の「ディスプレイ」の「デュアルディスプレイ機能を使う」をご覧ください。

7. 液晶ディスプレイの調整

液晶ディスプレイの調整について

文字がにじむときや縦縞状のノイズなどがあるときは、液晶ディスプレイの調整が必要です。ディスプレイに添付のマニュアルをご覧になり、ディスプレイを調整してください。

■液晶ディスプレイ(LCD2070WNX-V)をデジタル液晶ディスプレイとして使用した場合

画面の位置、サイズなどの調整は必要ありません。

■アナログ液晶ディスプレイ(LCD52VM-V、LCD72VM-V、LCD92VM-V)、または液晶ディスプレイ(LCD2070WNX-V)をアナログ液晶ディスプレイとして使用した場合

ディスプレイ本体のオートアジャスト機能で調整してください。詳しくは、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

8. 不正使用／盗難防止について

スーパバイザ/ユーザパスワード、ハードディスクパスワード、筐体ロックなど

本機には、本機の不正使用を防止する機能(スーパバイザ/ユーザパスワード)、ハードディスクドライブが盗難にあってもデータの漏洩を防ぐ機能(ハードディスクパスワード)、内蔵部品(メモリやハードディスクドライブ)の盗難を防止するため、錠をかける機能(筐体ロック)があります。この他にも便利な機能があります。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　タイプME(スリムタワー型)、タイプMB(スリムタワー型)、タイプMR(スリムタワー型)』の「PART1　本体の構成各部」の「セキュリティ機能／マネジメント機能」をご覧ください。

9. データのバックアップの設定

データのバックアップ方法については、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「メンテナンスと管理」の「ハードディスクのメンテナンス」をご覧ください。

❶ StandbyDisk

2台のハードディスクを使用し、一方のハードディスクドライブの内容をもう一方のハードディスクドライブに定期的(日/週/月単位など)に、バックアップできます。

バックアップをとることにより、運用中のハードディスクドライブの障害が起きたときに、もう一方のハードディスクから起動し、バックアップした時点の環境に戻すことができます。

StandbyDiskは「StandbyDisk」を選択した場合のみ添付されています。

詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「StandbyDisk」をご覧ください。

❷ StandbyDisk Solo RB

ハードディスク内にある第1パーティション(システムドライブ)の使用領域とほぼ同じ容量をバックアップ先(以後スタンバイ・エリア)として同パーティション内に確保し、使用領域のバックアップを行います。

稼動中のシステムに障害が起きた際、スタンバイ・エリアからシステムを起動することで、ハードウェア障害であるか、あるいはソフトウェア障害であるかを絞り込むことが可能です。

次の方法で「StandbyDisk Solo RBインストールガイド」を起動し、StandbyDisk Solo RBをインストールしてください。なお、StandbyDisk Solo RBは、Mateのみ使用できます。

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「メンテナンスツール」→「StandbyDisk Solo RBインストールガイド」をクリック

また、次のWebサイトからStandbyDisk Solo RBの上位互換ソフトである StandbyDisk Soloにアップグレードすることができます(有償)。

http://www.netjapan.co.jp/solo/rb1a4/

❸ Intel Matrix Storage Console

Intel Matrix Storage Consoleは、RAIDシステムを管理するユーティリティです。RAIDシステムの全ての操作ステータスを監視できます。データの変更や保存の際に、搭載した2台のハードディスクドライブにリアルタイムでデータの書き換えを実行し、データを二重化して保存します。万一1台目のハードディスクドライブでディスククラッシュなどのハードウェア障害が発生しても、もう一方のハードディスクドライブで継続動作できます。

Intel Matrix Storage Consoleは、p.8 2-❽の「増設ハードディスクオプション」で「ミラーリングSerial ATA RAID」を選択した場合のみ使用できます。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　タイプME(スリムタワー型)、タイプMB(スリムタワー型)、タイプMR(スリムタワー型)』の「PART1　本体の構成各部」の「ハードディスク(RAIDモデルの場合)」、および「Mate/Mate J　電子マニュアル」の「「Intel Matrix Storage Console」について」をご覧ください。

なお、Intel Matrix Storage Consoleは、RAIDモデルのみ使用できます。

10. セキュリティの設定

❶ セキュリティチップ ユーティリティ

セキュリティチップ ユーティリティでは、電子メールの保護機能や、ファイルとフォルダの暗号化(EFS)機能、Personal Secure Drive(PSD)機能を利用できます。これらの機種では、本体にハードウェア的にTPM(Trusted Platform Module)と呼ばれるセキュリティチップを実装し、セキュリティチップ内で暗号化や暗号化の解除、鍵の生成をするため、強固なセキュリティ機能を持っています。

また、セキュリティチップ上に暗号鍵を持つため、ハードディスクを取り外して持ち出されてもデータを読みとられることはありません。

詳しくは、「Mate/Mate J電子マニュアル」の『セキュリティチップユーティリティマニュアル』をご覧ください。

なお、セキュリティチップユーティリティは、タイプME(スリムタワー型)、およびタイプMB(スリムタワー型)のWindows XP Professionalモデルのみ使用できます。

❷ NASCA（NEC Authentication Agent）

NASCAは、IWS™ Desktop Securityと併用できません。

NASCAは、指紋、FeliCa対応カード、USBメモリなど、複数の認証デバイスを使用した高度な個人認証機能を提供します。
認証を受けていない第三者が本機を使用することを防止したり、Webサイトへのアクセスに必要な情報（パスワードなど）を自動的に保存、入力することができます。
保存された情報は、セキュリティチップと連携することによって、安全に管理されます。
詳しくは、「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」の「NASCA」フォルダの「NASCA User's Guide.pdf」をご覧ください。
なお、NASCAはタイプME（スリムタワー型）、およびタイプMB（スリムタワー型）のWindows XP Professionalモデルのみ使用できます。また、NASCAを使用できる認証デバイスは、セレクションメニューで選択したデバイスのみです。

❸ IWS™ Desktop Security

IWS™ Desktop Securityは、NASCAと併用できません。

IWS™ Desktop Securityは、保護されたWebサイトや文書へのアクセスに必要な情報（ユーザID、パスワードなど）をセキュリティチップ（以下、TPM）と連携し安全に格納・管理し、必要に応じて自動入力することができます。
また、TPMと連携することで、大切なファイルの保護（暗号化）や、Windowsログオン時のセキュリティを強化することができます。指紋センサ機能付きUSB 109キーボードをご使用の場合は、指紋認証機能によるWindowsログオンも可能です。
詳しくは、『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「IWS™ Desktop Security」をご覧ください。
なお、IWS™ Desktop Securityは、タイプME（スリムタワー型）、およびタイプMB（スリムタワー型）のWindows XP Professionalモデルのみ使用できます。

❹ 暗号化ファイルシステム（EFS）

EFS（Encrypting File System）は、Windows XP Professionalの標準ファイルシステムであるNTFSが持つファイルやフォルダの暗号化機能です。暗号化を行ったユーザ以外、データ復号化が行えないため、高いセキュリティ効果をもたらすことが可能です。
また、Windows XP Professionalモデルでは、「ハードディスク暗号化ユーティリティ」を使用することにより、暗号化ファイルシステムを簡単に設定できます。

詳しくは、『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「ハードディスク暗号化ユーティリティ」をご覧ください。
なお、「ハードディスク暗号化ユーティリティ」はWindows XP Professionalモデルのみ使用できます。

❺ 指紋認証機能

指紋認証機能とはパスワードの入力のかわりに、指紋センサを使って指紋による認証を行うシステムです。
この機能は、指紋センサ機能付きUSB 109キーボードモデルのみ使用でき、本機ではNASCAまたはIWS™ Desktop Securityと連携して、Windowsのセキュリティを強化できます。
詳しくは、『指紋センサ(ライン型)　ユーザーズガイド』をご覧ください。

❻ FeliCaカード認証機能

NASCAと連携し、FeliCaに対応したカードを利用して、Windowsログオンやスクリーンセーバーのロック解除などを行うことができます。
詳しくは、『FeliCaポートマニュアル』をご覧ください。『FeliCaポートマニュアル』は、「FeliCa Secure Client / FeliCaポート自己診断 CD-ROM」の「f_manual」の「index.htm」をダブルクリックすると表示されます。
なお、FeliCaカード認証機能は、タイプME(スリムタワー型)、およびタイプMB(スリムタワー型)のWindows XP ProfessionalモデルでFeliCaポート(外付け)を選択した場合のみ使用できます。

11. 上手な使い方

❶ トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源の入れ方/切り方や、エラーチェックなどいくつかのポイントがあります。また、トラブル時の修復に備えて、「Windows XP セットアップディスク」、および「RAIDモデル用ドライバディスク」(RAIDモデルの場合のみ)をあらかじめ作成しておくことをおすすめします。
「Windows XP セットアップディスク」の作成方法は、『活用ガイド　再セットアップ編』を、「RAIDモデル用ドライバディスク」の作成方法、またはその他のトラブルの予防については、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「トラブル解決Q&A」の「トラブルの予防」をご覧ください。

❷ 本機のお手入れ

本機を安全かつ快適に使用するためには、電源コードやマウスなど定期的にお手入れすることをおすすめします。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編』の「PART11　付録」の「お手入れについて」をご覧ください。

使用開始日表示ユーティリティ

本製品の保証期間は、製品ご購入日、もしくは初回電源投入日のどちらか遅い方の日から開始します。

初回電源投入日、型番、製造番号、構成コードは次の方法で確認できます。

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「メンテナンスツール」→「使用開始日表示ユーティリティ」をクリック

本製品の保証についての詳細は『保証規定＆修理に関するご案内』をご覧ください。

9 付録　機能一覧

仕様一覧

1.タイプME(スリムタワー型)

型名*1			MY26A/E-1 MJ26A/E-1	MY24A/E-1 MJ24A/E-1	MY21A/E-1 MJ21A/E-1	MY18A/E-1 MJ18A/E-1
CPU			インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー E6700	インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー E6600	インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー E6400	インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー E6300
	クロック周波数		2.66GHz	2.40GHz	2.13GHz	1.86GHz
キャッシュメモリ(CPU内蔵)	1次		インストラクション用32KB×2/データ用32KB×2			
	2次		4,096KB		2,048KB	
システムバス			1,066MHz(メモリバス:667MHz)			
チップセット			インテル® Q965 Express チップセット			
セキュリティチップ*2			TPM v1.2準拠			
最大メモリ(メインメモリ)			2GB [DIMMスロット×2]			
表示機能	グラフィックアクセラレータ		インテル® Q965 Expressチップセットに内蔵			
		ビデオRAM	最大128MB(メインメモリ256MBの場合)/最大256MB(メインメモリ512MB以上の場合)*35			
	解像度・表示色	640×480ドット(VGA)	最大1,677万色*3			
		800×600ドット(SVGA)	最大1,677万色*3			
		1,024×768ドット(XGA)	最大1,677万色*3			
		1,280×1,024ドット(SXGA)	最大1,677万色*4			
		1,600×1,200ドット(UXGA)	最大1,677万色*4			
		1,680×1,050ドット(WSXGA+)	最大1,677万色*4			
サウンド機能	音源/サウンド機能		インテル® High Definition Audio 準拠(最大192kHz/24ビット*44ステレオPCM同時録音再生機能、MIDI再生機能[OS標準])、3Dオーディオ(Direct Sound 3D対応)			
	スピーカ/スピーカ定格出力		アラームサウンド用モノラルスピーカ内蔵/1W*5			
	サウンドチップ		RealTek社製 ALC262搭載			
通信機能	LAN		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T*7、Remote Power On機能標準装備			

型名*1			MY26A/E-1 MJ26A/E-1	MY24A/E-1 MJ24A/E-1	MY21A/E-1 MJ21A/E-1	MY18A/E-1 MJ18A/E-1
インターフェイス	USB		6(本体前面×2、本体背面×4)[USB 109キーボード選択時、1ポートをキーボードで占有済。指紋センサ機能付きUSB 109キーボード選択時、2ポートをキーボード&マウスで占有済。]、USB2.0対応*8			
	シリアル		RS-232C D-sub9ピン×1、最高115.2kbps対応			
	パラレル		セントロニクス準拠 D-sub25ピン×1			
	ディスプレイ	アナログRGB	アナログRGB セパレート信号出力(75Ωアナログインターフェイス)、ミニD-sub15ピン×1*46			
		DVI	ー*47			
	PS/2		ミニDIN6ピン×2[PS/2接続キーボード選択時、キーボードおよびマウスで占有済]			
	通信関連		RJ45 LANコネクタ×1			
	サウンド関連	マイク入力	ステレオミニジャック×1 (マイク入力インピーダンス64kΩ、入力レベル5mVrms、バイアス電圧2.5V)			
		ライン入力	ステレオミニジャック×1 (入力インピーダンス64kΩ、入力レベル1Vrms)			
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1 (対応ヘッドフォンインピーダンス 16Ω-100Ω「推奨32Ω」、出力電力 5mW/32Ω)			
		ライン出力	ステレオミニジャック×1 (出力レベル 1Vrms、出力インピーダンス64kΩ)			
記憶装置	FDD		標準内蔵、3.5型、3モード(720KB/1.2MB/1.44MB)対応*9			
ベイ	増設用ATAコネクタ		Serial ATA×1(増設HDD選択時は占有済)*22			
	3.5型ベイ[空き]		ー			
	内蔵3.5型ベイ[空き]		2スロット(標準HDDで1スロット占有済) [1]*23			
拡張スロット	PCI Express x16スロット[空き]		1スロット(Low Profile*12) (NVIDIA社製 GeForce® 6200 with TurboCache™またはデジタルディスプレイ用コネクタボード選択時、グラフィック系ボードで占有済) [1]			
	PCIスロット[空き]		2スロット(ハーフ*11×2)(IEEE1394コネクタボード選択時は1スロット占有済) [2]			
電源			AC100V±10%、50/60Hz(入力波形は正弦波のみをサポート)			
消費電力*13(最大構成時)			約64W (最大約175W)	約62W (最大約170W)	約67W (最大約172W)	約69W (最大約175W)
皮相電力*13(最大構成時)			約88VA (最大約243VA)	約86VA (最大約237VA)	約92VA (最大約238VA)	約95VA (最大約241VA)
エネルギー消費効率(省エネ基準達成率)*13*14	目標年度 2005年度		P区分 0.00009 (AAA)	P区分 0.00011 (AAA)	P区分 0.00008 (AAA)	P区分 0.00013 (AAA)
	目標年度 2007年度		j区分 0.0008 (AAA)	j区分 0.0008 (AAA)	j区分 0.0010 (AA)	j区分 0.0010 (AA)
電波障害対策			VCCI ClassB			
外形寸法(本体)			88(W)×327(D)×345(H)mm(スタビライザ含まず)、 218(W)×327(D)×345(H)mm(スタビライザ含む)*16			
質量(本体)*15			約9.0kg			
温湿度条件			10 ～ 35℃ 、20 ～ 80%(ただし結露しないこと)			
インストール可能OS *17*18			Windows® XP Professional(SP2)*21/Home Edition(SP2)*19、Windows® 2000 Professional(SP4)*19/Server(SP4)*19			
主な添付品			サービスコンセント付き電源コード、スタビライザ、アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM、印刷マニュアル類、保証書 他			

型名*1		MY30V/E-1 MJ30V/E-1	MY26X/E-1 MJ26X/E-1
CPU		インテル® Pentium® 4 プロセッサー 531	インテル® Celeron® D プロセッサー 331
	クロック周波数	3GHz*20	2.66GHz
キャッシュメモリ(CPU内蔵)	1次	12Kμ命令実行トレース/16KBデータ	
	2次	1,024KB	256KB
システムバス		800MHz(メモリバス:667MHz)	533MHz(メモリバス:533MHz)
チップセット		インテル® Q965 Express チップセット	
セキュリティチップ*2		TPM v1.2準拠	
最大メモリ(メインメモリ)		2GB [DIMMスロット×2]	

型名*1			MY30V/E-1 MJ30V/E-1	MY26X/E-1 MJ26X/E-1
表示機能	グラフィックアクセラレータ		インテル® Q965 Expressチップセットに内蔵	
		ビデオRAM	最大128MB(メインメモリ256MBの場合)/最大256MB(メインメモリ512MB以上の場合)*35	
	解像度・表示色	640×480ドット(VGA)	最大1,677万色*3	
		800×600ドット(SVGA)	最大1,677万色*3	
		1,024×768ドット(XGA)	最大1,677万色*3	
		1,280×1,024ドット(SXGA)	最大1,677万色*4	
		1,600×1,200ドット(UXGA)	最大1,677万色*4	
		1,680×1,050ドット(WSXGA+)	最大1,677万色*4	
サウンド機能	音源/サウンド機能		インテル® High Definition Audio 準拠(最大192kHz/24ビット*44ステレオPCM同時録音再生機能、MIDI再生機能[OS標準])、3Dオーディオ(Direct Sound 3D対応)	
	スピーカ/スピーカ定格出力		アラームサウンド用モノラルスピーカ内蔵/1W*5	
	サウンドチップ		RealTek社製 ALC262搭載	
通信機能	LAN		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T*7、Remote Power On機能標準装備	
インターフェイス	USB		6(本体前面×2、本体背面×4)[USB 109キーボード選択時、1ポートをキーボードで占有済。指紋センサ機能付きUSB 109キーボード選択時、2ポートをキーボード&マウスで占有済。]、USB2.0対応*8	
	シリアル		RS-232C D-sub9ピン×1、最高115.2kbps対応	
	パラレル		セントロニクス準拠 D-sub25ピン×1	
	ディスプレイ	アナログRGB	アナログRGB セパレート信号出力(75Ωアナログインターフェイス)、ミニD-sub15ピン×1*46	
		DVI	ー*47	
	PS/2		ミニDIN6ピン×2[PS/2接続キーボード選択時、キーボードおよびマウスで占有済]	
	通信関連		RJ45 LANコネクタ×1	
	サウンド関連	マイク入力	ステレオミニジャック×1 (マイク入力インピーダンス64kΩ、入力レベル5mVrms、バイアス電圧2.5V)	
		ライン入力	ステレオミニジャック×1 (入力インピーダンス64kΩ、入力レベル1Vrms)	
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1 (対応ヘッドフォンインピーダンス 16Ω-100Ω「推奨32Ω」、出力電力 5mW/32Ω)	
		ライン出力	ステレオミニジャック×1 (出力レベル 1Vrms、出力インピーダンス64kΩ)	
記憶装置	FDD		標準内蔵、3.5型、3モード(720KB/1.2MB/1.44MB)対応*9	
ベイ	増設用ATAコネクタ		Serial ATA×1(増設HDD選択時は占有済)*22	
	3.5型ベイ[空き]		ー	
	内蔵3.5型ベイ[空き]		2スロット(標準HDDで1スロット占有済) [1]*23	
拡張スロット	PCI Express x16スロット[空き]		1スロット(Low Profile*12) (NVIDIA社製 GeForce® 6200 with TurboCache™またはデジタルディスプレイ用コネクタボード選択時、グラフィック系ボードで占有済) [1]	
	PCIスロット[空き]		2スロット(ハーフ*11×2)(IEEE1394コネクタボード選択時は1スロット占有済)[2]	
電源			AC100V±10%、50/60Hz(入力波形は正弦波のみをサポート)	
消費電力*13(最大構成時)			約69W(最大約181W)	約69W(最大約177W)
皮相電力*13(最大構成時)			約95VA(最大約249VA)	約95VA(最大約243VA)
エネルギー消費効率(省エネ基準達成率)*13*14	目標年度 2005年度		P区分 0.00023 (AAA)	P区分 0.00039 (AAA)
	目標年度 2007年度		j区分 0.0029 (A)	j区分 0.0034 (A)
電波障害対策			VCCI ClassB	
外形寸法(本体)			88(W)×327(D)×345(H)mm(スタビライザ含まず)、 218(W)×327(D)×345(H)mm(スタビライザ含む)*16	
質量(本体)*15			約9.0kg	

型名*1	MY30V/E-1 MJ30V/E-1	MY26X/E-1 MJ26X/E-1
温湿度条件	10～35℃、20～80%(ただし結露しないこと)	
インストール可能OS *17*18	Windows® XP Professional(SP2)*21/Home Edition(SP2)*19、Windows® 2000 Professional(SP4)*19/Server(SP4)*19	
主な添付品	サービスコンセント付き電源コード、スタビライザ、アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM、印刷マニュアル類、保証書 他	

＊ 1：セレクションメニューを選択した構成での型名・型番については、本書の『型番を控える』をご覧ください。
＊ 2：プリインストールのWindows® XP Professional以外では使用できません。
＊ 3：グラフィックアクセラレータの持つ最大発色数です。
＊ 4：グラフィックアクセラレータの持つ解像度および色数の能力であり、接続するディスプレイによっては、表示できないことがあります。
＊ 5：内蔵スピーカはシステムのアラームを通知することを考慮して実装しています。オーディオ再生等の際は、別途スピーカまたはヘッドフォンを使用してください。
＊ 7：国際エネルギースタープログラムに対応するため、一定時間、操作がない状態が続くと、省電力モード（システムスタンバイまたは休止状態）に入るため、ネットワーク構築環境によって適さない場合があります。
＊ 8：USB接続キーボードのUSBハブを経由すると、USB転送速度が最大12Mbpsに制限されます。
＊ 9：1.2MBへの対応は、ドライバのセットアップが必要です（標準添付）。1.44MB以外(720KB/1.2MB)のフォーマットはできません。
＊11：搭載可能なボードサイズは、106(W)×176(D)mm以内となります。
＊12：搭載可能なボードサイズは、64(W)×167(D)mm以内となります。
＊13：OSはWindows® XP Professional、最小容量メモリ（スマートセレクションメニューで選択できる最小容量）(エネルギー消費効率は最大容量メモリ)、最小容量HDD、CD-ROM、FDD、PS/2 109キーボード、PS/2マウス(ボール)、PCI Expressグラフィックアクセラレータ搭載時の構成にて測定しています。(増設HDDは無し。また、ハイパースレッディング・テクノロジーはoff。)
＊14：エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語Aは達成率100%以上200%未満、AAは達成率200%以上500%未満、AAAは達成率500%以上を示します。
＊15：最小容量メモリ（スマートセレクションメニューで選択できる最小容量)、最大容量HDD(増設HDDは無し)、CD-ROM、FDD、PCI Expressグラフィックアクセラレータありの構成での質量です。(キーボード、マウスの質量は含みません)
＊16：縦置き時の足以外の突起物は含みません。
＊17：「SP」は「Service Pack」の略称です。インストール可能OS用ドライバは（ ）内のService Packのバージョンにてインストール手順の確認をおこなっているものです。インストール可能OSを使用する場合は（ ）内のService Packを適用してご使用ください。別売のOSとService Packは別途入手が必要となります。
＊18：インストール可能OS用ドライバは本体に添付していません。また、Mate Jではプリインストールされている OS以外は使用できません。「http://nec8.com/」の上段ボタン中「サポート情報」→「ダウンロード・マニュアル」の「ダウンロード」の「インストール可能OS用ドライバ（サポートOS用ドライバ)」→「インストール可能OS用ドライバ（サポートOS用ドライバ)」の「Mate」に順次掲載します。なお、インストール可能OSを利用する際、インストール/添付アプリケーションが使用できない等、いくつか制限事項があります。
＊19：以下のOSとセレクションメニューの組合せは、インストール可能OSで使用できません。購入時にご注意ください。ミラーリング選択時は、Windows® XP Home Edition、Windows® 2000 Professional/Serverが使用できません。また、Windows® XP Home Editionでは、デュアルディスプレイ機能、Windows® 2000 Professional/Serverでは、GeForce® 6200 with TurboCache™、デジタルディスプレイ用コネクタボード(DVI-D)およびIEEE1394コネクタが使用できません。この他にもインストール可能OSをご利用の際の制限事項がありますので＊18をご覧ください。
＊20：Windows® XP Professionalを選択の場合、ハイパースレッディング・テクノロジー対応となります。ハイパースレッディング・テクノロジーは必ずService Pack 1以上を適用した状態で使用してください（出荷時にはService Pack 2が適用済み）。ハイパースレッディング・テクノロジーは工場出荷時OFFに設定されています。本機能を使用するためにはBIOSセットアップユーティリティで設定を変更する必要があります。
＊21：MY30V/E-1およびMJ30V/E-1のハイパースレッディング・テクノロジーはプリインストールモデルのみのサポートとなります。
＊22：3.5型ベイの空きスロット数を超えての接続はできません。
＊23：増設HDD選択時は空きベイはありません。
＊35：メインメモリの一部をビデオRAMとして使用します。
＊44：使用出来る量子化ビットやサンプリングレートは、OSや使用するアプリケーションなどのソフトウェアによって異なります。
＊46：セレクションメニューにて「グラフィック系ボード」を選択しない場合。GeForce® 6200 with TurboCache™を選択した場合はボード搭載の専用コネクタ（DMS-59コネクタ）にボード添付のGeForce® 6200 with TurboCache™用アナログディスプレイケーブルを使用し、ミニD-sub15ピン×2の構成となります（I/Oプレート部搭載のアナログコネクタは使用できません）。デジタルディスプレイ用コネクタボード（DVI-D）を選択した場合はI/Oプレート部搭載のアナログコネクタ(ミニD-sub15ピン)は未サポートです。
＊47：セレクションで「デジタルディスプレイ用コネクタボード」を選択した場合は、デジタルフラットパネル信号出力(TMDS)、DVI-D24ピンとなります。

◆セレクションメニュー*51

型名*1		MY26A/E-1 MJ26A/E-1	MY24A/E-1 MJ24A/E-1	MY21A/E-1 MJ21A/E-1	MY18A/E-1 MJ18A/E-1
再セットアップ用データ*52	HDD	再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納*53			
	CD-ROM	再セットアップ用CD-ROM添付*54			
グラフィック系ボード	グラフィックアクセラレータ	NVIDIA社製 GeForce® 6200 with TurboCache™ (PCI Express x16)			
	ビデオRAM	最大128MB(メインメモリ256MBの場合)/最大256MB(メインメモリ512MB以上の場合)*78			
	ディスプレイ用コネクタ	デジタルディスプレイ用コネクタボード(DVI-D)*77			
	ビデオRAM	最大128MB(メインメモリ256MBの場合)/最大256MB(メインメモリ512MB以上の場合)*85			
メモリ*55	512MB	DDR2-SDRAM、PC2-5300*56、256MB DIMM×2*57			
	512MB	DDR2-SDRAM、PC2-5300*56、512MB DIMM×1			
	1GB	DDR2-SDRAM、PC2-5300*56、512MB DIMM×2*57			
	1GB	DDR2-SDRAM、PC2-5300*56、1,024MB DIMM×1			
	2GB	DDR2-SDRAM、PC2-5300*56、1,024MB DIMM×2*57			
ハードディスク*58	80GB	約80GB*60、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応			
	160GB	約160GB*60、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応			
	300GB	約300GB*60、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応			
	80GB×2*59	約80GB×2*60、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応			
	160GB×2*59	約160GB×2*60、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応			
	300GB×2*59	約300GB×2*60、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応			
ミラーリング(RAID 1)		インテル® マトリクス・ストレージ・テクノロジー			
CD-ROM系*61*62	CD-ROM(薄型)	CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R読み込み:最大24倍速、CD-RW読み込み:最大10倍速			
	DVD-ROM(薄型)*64	CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R読み込み:最大24倍速、CD-RW読み込み:最大24倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-Video読み込み:最大4倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大5倍速、DVD-RW読み込み:最大8倍速、DVD+RW読み込み:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大5倍速*69			
	CD-R/RW with DVD-ROM(薄型)*64*65*66	CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW読み込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-Video読み込み:最大4倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大4倍速、DVD+R(1層)読み込み:最大4倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大4倍速、DVD-RW読み込み:最大4倍速、DVD+RW読み込み:最大4倍速、DVD-RAM読み込み:最大2倍速*69			
	DVDスーパーマルチドライブ(薄型)*64*65*66	CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW読み込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-Video読み込み:最大4倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD-R(1層)書き込み:最大8倍速*67、DVD-R(2層)読み込み:最大6倍速、DVD-R(2層)書き込み:最大4倍速、DVD+R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(1層)書き込み:最大8倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大6倍速、DVD+R(2層)書き込み:最大4倍速、DVD-RW読み込み:最大6倍速、DVD-RW書き換え:最大6倍速*68、DVD+RW読み込み:最大6倍速、DVD+RW書き換え:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大5倍速*69、DVD-RAM書き換え:最大5倍速*69*71*72			
インターフェイス	IEEE1394	IEEE1394(6ピン)×2			
セキュリティ機能	FeliCaポート	FeliCaポート(外付け)(USB接続、ケーブル長:約70cm)。OSログオン時、スクリーンセーバ解除時などにEdy機能を搭載したFeliCaカードによる認証が可能。			
キーボード・マウス	指紋センサ機能付きUSB 109キーボード*74 & USBマウス(光センサー)	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付き、指紋センサ内蔵、USBインターフェイス、外形寸法:505(W)×153(D)×40(H)mm、質量:約1.1kg、USBマウス(光センサー式*76、スクロールホイール付き)添付			
	USB 109キーボード & USBマウス(光センサー)	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付き、USB1.1対応バスパワードハブ(2ポート)*75、USBインターフェイス、外形寸法:472(W)×179(D)×39(H)mm、質量:約1.2kg、USBマウス(光センサー式*76、スクロールホイール付き)添付			
	PS/2 109キーボード & PS/2マウス(ボール)	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付き、PS/2インターフェイス、外形寸法:456(W)×169(D)×40(H)mm、質量:約0.9kg、PS/2マウス(ボール式、スクロールホイール付き)添付			
	テンキー付きPS/2小型キーボード & PS/2マウス(ボール)	JIS標準配列(英数、かな)、テンキー付き、PS/2インターフェイス、外形寸法:384(W)×154(D)×36(H)mm、質量:約0.8kg、PS/2マウス(ボール式、スクロールホイール付き)添付			

型名*1		MY30V/E-1 MJ30V/E-1	MY26X/E-1 MJ26X/E-1
再セットアップ用データ*52	HDD	再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納*53	
	CD-ROM	再セットアップ用CD-ROM添付*54	
グラフィック系ボード	グラフィックアクセラレータ	NVIDIA社製 GeForce® 6200 with TurboCache™ (PCI Express x16)	
	ビデオRAM	最大128MB(メインメモリ256MBの場合)/最大256MB(メインメモリ512MB以上の場合)*78	
	ディスプレイ用コネクタ	デジタルディスプレイ用コネクタボード(DVI-D)*77	
	ビデオRAM	最大128MB(メインメモリ256MBの場合)/最大256MB(メインメモリ512MB以上の場合)*85	
メモリ*55	256MB	−	DDR2-SDRAM、PC2-5300*56、256MB DIMM×1
	512MB	DDR2-SDRAM、PC2-5300*56、256MB DIMM×2*57	
	512MB	DDR2-SDRAM、PC2-5300*56、512MB DIMM×1	
	1GB	DDR2-SDRAM、PC2-5300*56、512MB DIMM×2*57	
	1GB	DDR2-SDRAM、PC2-5300*56、1,024MB DIMM×1	
	2GB	DDR2-SDRAM、PC2-5300*56、1,024MB DIMM×2*57	
ハードディスク*58	80GB	約80GB*60、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応	
	160GB	約160GB*60、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応	
	300GB	約300GB*60、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応	
	80GB×2*59	約80GB×2*60、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応	
	160GB×2*59	約160GB×2*60、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応	
	300GB×2*59	約300GB×2*60、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応	
ミラーリング(RAID 1)		インテル® マトリクス・ストレージ・テクノロジー	
CD-ROM系*61*62	CD-ROM(薄型)	CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R読み込み:最大24倍速、CD-RW読み込み:最大10倍速	
	DVD-ROM(薄型)*64	CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R読み込み:最大24倍速、CD-RW読み込み:最大24倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-Video読み込み:最大4倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大5倍速、DVD-RW読み込み:最大8倍速、DVD+RW読み込み:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大5倍速*69	
	CD-R/RW with DVD-ROM(薄型)*64*65*66	CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW読み込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-Video読み込み:最大4倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大4倍速、DVD+R(1層)読み込み:最大4倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大4倍速、DVD-RW読み込み:最大4倍速、DVD+RW読み込み:最大4倍速、DVD-RAM読み込み:最大2倍速*69	
	DVDスーパーマルチドライブ(薄型)*64*65*66	CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW読み込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-Video読み込み:最大4倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD-R(1層)書き込み:最大8倍速*67、DVD-R(2層)読み込み:最大6倍速、DVD-R(2層)書き込み:最大4倍速、DVD+R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(1層)書き込み:最大8倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大6倍速、DVD+R(2層)書き込み:最大4倍速、DVD-RW読み込み:最大6倍速、DVD-RW書き換え:最大6倍速*68、DVD+RW読み込み:最大6倍速、DVD+RW書き換え:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大5倍速*69、DVD-RAM書き換え:最大5倍速*69*71*72	
インターフェイス	IEEE1394	IEEE1394(6ピン)×2	
セキュリティ機能	FeliCaポート	FeliCaポート(外付け)(USB接続、ケーブル長:約70cm)。OSログオン時、スクリーンセーバ解除時などにEdy機能を搭載したFeliCaカードによる認証が可能。	
キーボード・マウス	指紋センサ機能付きUSB 109キーボード*74 & USBマウス(光センサー)	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付き、指紋センサ内蔵、USBインターフェイス、外形寸法:505(W)×153(D)×40(H)mm、質量:約1.1kg、USBマウス(光センサー式*76、スクロールホイール付き)添付	
	USB 109キーボード & USBマウス(光センサー)	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付き、USB1.1対応バスパワードハブ(2ポート)*75、USBインターフェイス、外形寸法:472(W)×179(D)×39(H)mm、質量:約1.2kg、USBマウス(光センサー式*76、スクロールホイール付き)添付	
	PS/2 109キーボード & PS/2マウス(ボール)	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付き、PS/2インターフェイス、外形寸法:456(W)×169(D)×40(H)mm、質量:約0.9kg、PS/2マウス(ボール式、スクロールホイール付き)添付	
	テンキー付きPS/2小型キーボード & PS/2マウス(ボール)	JIS標準配列(英数、かな)、テンキー付き、PS/2インターフェイス、外形寸法:384(W)×154(D)×36(H)mm、質量:約0.8kg、PS/2マウス(ボール式、スクロールホイール付き)添付	

＊ 51: セレクションメニュー中の各オプションは単体販売を行っていません。

＊ 52: セレクションによっては、再セットアップ用CD-ROMは本体添付されていません。HDDに格納してある再セットアップ用バックアップイメージ破損や誤って消去した場合などの媒体購入方法はhttp://nx-media.ssnet.co.jp/をご参照ください。

＊ 53: HDD内の約3GBを再セットアップ領域として使用しています。これらの「再セットアップ用バックアップイメージ」をCD-R媒体に書き出す場合には、ご購入時にセレクションメニューでCD-R/RW with DVD-ROMまたはDVDスーパーマルチドライブの選択が必要です。

＊ 54：再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されていません。
＊ 55：メモリを拡張する場合は、標準搭載されている増設RAMボードを取り外す必要がある場合があります。
＊ 56：MY26X/E-1およびMJ26X/E-1ではメモリバス533MHz(PC2-4200相当)で動作します。
＊ 57：同容量メモリを2枚搭載した場合、デュアルチャネルに対応します。
＊ 58：20GBがNTFS、残りもNTFSでフォーマット済みです。また、最後の約3GBを再セットアップ領域として使用しています。ただしセレクションメニューで再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されていません。
＊ 59：セレクションメニューにてStandbyDiskありを選択した場合、増設HDDは未フォーマットです。StandbyDiskを選択されない場合は、増設HDDはNTFSでフォーマット済みです。
＊ 60：Always アップデートエージェント用の領域として、約400MBがあらかじめ使用されています。
＊ 61：メディアの種類、フォーマット形式によっては記載の速度が出ない場合があります。
＊ 62：コピーコントロールCDなど一部の音楽CDの作成および再生ができない場合があります。
＊ 64：DVDビデオ再生ツール「InterVideo® WinDVD™ 5 for NEC」が添付されます。
＊ 65：書き込みツール「DigitalMedia/DLA」が添付されます。
＊ 66：バッファアンダーランエラー防止機能付きです。
＊ 67：DVD-RはDVD for General Ver.2.0/2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊ 68：DVD-RWはDVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊ 69：片面4.7GBのDVD-RAMの速度です。カートリッジタイプのDVD-RAMメディア（TYPE1）は使用できません。またプリインストールOS標準でサポートされるフォーマットはFAT32のみです。
＊ 71：DVD-RAM12倍速メディアの書き込みはサポートしていません。
＊ 72：DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 3X-speed Revision 1.0/2.2 5X-speed Revision 2.0に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊ 74：プリインストールのWinsows® XP Professional以外では使用できません。
＊ 75：USBコネクタから100mA以下の電流を消費する機器のみ接続できます。また、USB2.0は未サポートです。
＊ 76：光センサーマウスは、光沢のある白い面などの上で使用すると意図した通りに動作しない場合があります。その際は光学式マウスに対応したマウスパッドなどを別途ご用意ください。
＊ 77：デジタルディスプレイ用コネクタボードを選択した場合は、チップセットに内蔵のグラフィックアクセラレータ機能を使用します。
＊ 78：うち64MBはボード搭載のメモリを使用。またシステム全体とグラフィックスの負荷状態に応じて、メインメモリから0 ～ 64MB（メインメモリ512MB以上の場合は最大192MB）の領域を動的に使用します。
＊ 85：メインメモリの一部をビデオRAMとして使用します。

2.タイプMB(スリムタワー型)

型名*1			MY24A/B-1 MJ24A/B-1	MY18A/B-1 MJ18A/B-1	MY28E/B-1 MJ28E/B-1
CPU			インテル® Core™2 Duo プロセッサー E6600	インテル® Core™2 Duo プロセッサー E6300	インテル® Pentium® D プロセッサー 820
	クロック周波数		2.40GHz	1.86GHz	2.80GHz
キャッシュメモリ(CPU内蔵)	1次		インストラクション用32KB×2/データ用32KB×2		12Kμ命令実行トレース×2/16KBデータ×2
	2次		4,096KB	2,048KB	1,024KB×2
システムバス			1,066MHz(メモリバス:667MHz)		800MHz(メモリバス:667MHz)
チップセット			インテル® Q963 Express チップセット		
セキュリティチップ*2			TPM v1.2準拠		
最大メモリ(メインメモリ)			2GB [DIMMスロット×2]		
表示機能	グラフィックアクセラレータ		インテル® Q963 Expressチップセットに内蔵		
		ビデオRAM	最大256MB *35		
	解像度・表示色	640×480ドット(VGA)	最大1,677万色*3		
		800×600ドット(SVGA)	最大1,677万色*3		
		1,024×768ドット(XGA)	最大1,677万色*3		
		1,280×1,024ドット(SXGA)	最大1,677万色*4		
		1,600×1,200ドット(UXGA)	最大1,677万色*4		
		1,680×1,050ドット(WSXGA+)	最大1,677万色*4		
サウンド機能	音源/サウンド機能		インテル® High Definition Audio 準拠(最大192kHz/24ビット*44ステレオPCM同時録音再生機能、MIDI再生機能[OS標準])、3Dオーディオ(Direct Sound 3D対応)		
	スピーカ/スピーカ定格出力		アラームサウンド用モノラルスピーカ内蔵/1W*5		
	サウンドチップ		RealTek社製 ALC262搭載		
通信機能	LAN		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T*7、Remote Power On機能標準装備		
インターフェイス	USB		6(本体前面×2、本体背面×4)[USB 109キーボード選択時、1ポートをキーボードで占有済。指紋センサ機能付きUSB 109キーボード選択時、2ポートをキーボード&マウスで占有済。]、USB2.0対応*8		
	シリアル		RS-232C D-sub9ピン×1、最高115.2kbps対応		
	パラレル		セントロニクス準拠 D-sub25ピン×1		
	ディスプレイ	アナログRGB	アナログRGB セパレート信号出力(75Ωアナログインターフェイス)、ミニD-sub15ピン×1*25		
		DVI	ー*47		
	PS/2		ミニDIN6ピン×2[PS/2接続キーボード選択時、キーボードおよびマウスで占有済]		
	通信関連		RJ45 LANコネクタ×1		
	サウンド関連	マイク入力	ステレオミニジャック×1 (マイク入力インピーダンス64kΩ、入力レベル5mVrms、バイアス電圧2.5V)		
		ライン入力	ステレオミニジャック×1 (入力インピーダンス64kΩ、入力レベル1Vrms)		
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1 (対応ヘッドフォンインピーダンス 16Ω-100Ω「推奨32Ω」、出力電力 5mW/32Ω)		
		ライン出力	ステレオミニジャック×1 (出力レベル 1Vrms、出力インピーダンス64kΩ)		
記憶装置	FDD		標準内蔵、3.5型、3モード(720KB/1.2MB/1.44MB)対応*9		
ベイ	3.5型ベイ[空き]		1スロット(FDDで占有済)[0]		
	内蔵3.5型ベイ[空き]		1スロット(標準HDDで占有済)[0]		
	5型ベイ[空き]		1スロット(CD-ROM系ドライブまたは増設HDD&CD-ROM系ドライブ(薄型)で占有済)[0]		

型名*1		MY24A/B-1 MJ24A/B-1	MY18A/B-1 MJ18A/B-1	MY28E/B-1 MJ28E/B-1
拡張スロット	PCIスロット[空き]	2スロット(ハーフ*11×2)[2]		
電源		AC100V±10%、50/60Hz(入力波形は正弦波のみをサポート)		
消費電力*13(最大構成時)		約63W(最大約175W)	約70W(最大約179W)	約87W(最大約214W)
皮相電力*13(最大構成時)		約87VA(最大約243VA)	約96VA(最大約246VA)	約119VA(最大約288VA)
エネルギー消費効率(省エネ基準達成率)*13*14	目標年度 2005年度	P区分 0.00010 (AAA)	P区分 0.00013 (AAA)	P区分 0.00018 (AAA)
	目標年度 2007年度	j区分 0.0009 (AAA)	j区分 0.0012 (AA)	j区分 0.0021 (AA)
電波障害対策		VCCI ClassB		
外形寸法(本体)		99(W)×380(D)×363(H)mm(スタビライザ含まず)、 220(W)×380(D)×363(H)mm(スタビライザ含む)*16		
質量(本体)*15		約10.0kg		
温湿度条件		10～35℃、20～80%(ただし結露しないこと)		
インストール可能OS *17*18		Windows® XP Professional(SP2)/Home Edition(SP2)		
主な添付品		サービスコンセント付き電源コード、スタビライザ、アプリケーションCD-ROM/ マニュアルCD-ROM、印刷マニュアル類、保証書 他		

* 1: セレクションメニューを選択した構成での型名・型番については、本書の『型番を控える』をご覧ください。
* 2: プリインストールのWindows® XP Professional以外では使用できません。
* 3: グラフィックアクセラレータの持つ最大発色数です。
* 4: グラフィックアクセラレータの持つ解像度および色数の能力であり、接続するディスプレイによっては、表示できないことがあります。
* 5: 内蔵スピーカはシステムのアラームを通知することを考慮して実装しています。オーディオ再生等の際は、別途スピーカまたはヘッドフォンを使用してください。
* 7: 国際エネルギースタープログラムに対応するため、一定時間、操作がない状態が続くと、省電力モード(システムスタンバイまたは休止状態)に入るため、ネットワーク構築環境によって適さない場合があります。
* 8: USB接続キーボードのUSBハブを経由すると、USB転送速度が最大12Mbpsに制限されます。
* 9: 1.2MBへの対応は、ドライバのセットアップが必要です(標準添付)。1.44MB以外(720KB/1.2MB)のフォーマットはできません。
* 11: 搭載可能なボードサイズは、106(W)×176(D)mm以内となります。
* 13: OSはWindows® XP Professional、最小容量メモリ(スマートセレクションメニューで選択できる最小容量)(エネルギー消費効率は最大容量メモリ)、最小容量HDD、CD-ROM、FDD、PS/2 109キーボード、PS/2マウス(ボール)の構成にて測定。(増設HDDは無し。)
* 14: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語Aは達成率100%以上200%未満、AAは達成率200%以上500%未満、AAAは達成率500%以上を示します。
* 15: 最小容量メモリ(スマートセレクションメニューで選択できる最小容量)、最大容量HDD(増設HDDは無し)、CD-ROM、FDDの構成での質量です。(キーボード、マウスの質量は含みません)
* 16: 縦置き時の足以外の突起物は含みません。
* 17: 「SP」は「Service Pack」の略称です。インストール可能OS用ドライバは( )内のService Packのバージョンにてインストール手順の確認をおこなっているものです。インストール可能OSを使用する場合は( )内のService Packを適用してご使用ください。別売のOSとService Packは別途入手が必要となります。
* 18: インストール可能OS用ドライバは本体に添付していません。また、Mate JではプリインストールされているOS以外は使用できません。「http://nec8.com/」の上段ボタン中「サポート情報」→「ダウンロード・マニュアル」の「ダウンロード」の「インストール可能OS用ドライバ(サポートOS用ドライバ)」→「インストール可能OS用ドライバ(サポートOS用ドライバ)」の「Mate」に順次掲載します。なお、インストール可能OSを利用する際、インストール/添付アプリケーションが使用できない等、いくつか制限事項があります。必ずご購入前に、「インストール可能OSをご利用になる前に必ずお読みください」をご覧になり、制限事項を確認してください。
* 25: セレクションメニューにて「グラフィック系ボード」を選択しない場合。デジタルディスプレイ用コネクタボード(DVI-D)を選択した場合はI/Oプレート部に搭載されているアナログコネクタは未サポートです。
* 35: メインメモリの一部をビデオRAMとして使用します。
* 44: 使用出来る量子化ビットやサンプリングレートは、OSや使用するアプリケーションなどのソフトウェアによって異なります。
* 47: セレクションで「デジタルディスプレイ用コネクタボード」を選択した場合は、デジタルフラットパネル信号出力(TMDS)、DVI-D24ピンとなります。

◆セレクションメニュー*51

型名*1		MY24A/B-1 MJ24A/B-1	MY18A/B-1 MJ18A/B-1	MY28E/B-1 MJ28E/B-1
再セットアップ用データ*52	HDD	再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納*53		
	CD-ROM	再セットアップ用CD-ROM添付*54		
グラフィック系ボード	ディスプレイ用コネクタ	デジタルディスプレイ用コネクタボード(DVI-D)*77		
	ビデオRAM	最大256MB *85		
メモリ*55	512MB	DDR2-SDRAM、PC2-5300、256MB DIMM×2*57		
	512MB	DDR2-SDRAM、PC2-5300、512MB DIMM×1		
	1GB	DDR2-SDRAM、PC2-5300、512MB DIMM×2*57		
	1GB	DDR2-SDRAM、PC2-5300、1,024MB DIMM×1		
	2GB	DDR2-SDRAM、PC2-5300、1,024MB DIMM×2*57		
ハードディスク*58	80GB	約80GB*60、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応		
	160GB	約160GB*60、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応		
	300GB	約300GB*60、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応		
	80GB×2*59	約80GB×2*60、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応		
	160GB×2*59	約160GB×2*60、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応		
	300GB×2*59	約300GB×2*60、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応		
CD-ROM系*61*62	CD-ROM*63	CD-ROM読み込み:最大40倍速、CD-R読み込み:最大40倍速、CD-RW読み込み:最大40倍速		
	CD-ROM(薄型)	CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R読み込み:最大24倍速、CD-RW読み込み:最大10倍速		
	DVD-ROM*63*64	CD-ROM読み込み:最大40倍速、CD-R読み込み:最大40倍速、CD-RW読み込み:最大32倍速、DVD-ROM読み込み:最大16倍速、DVD-Video読み込み:最大4倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大6倍速、DVD+R(1層)読み込み:最大6倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大6倍速、DVD-RW読み込み:最大6倍速、DVD+RW読み込み:最大6倍速、DVD-RAM読み込み:最大2倍速*69		
	CD-R/RW with DVD-ROM*63*64*65*66	CD-ROM読み込み:最大40倍速、CD-R読み込み:最大40倍速、CD-R書き込み:最大40倍速、CD-RW読み込み:最大40倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大16倍速、DVD-Video読み込み:最大4倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大6倍速、DVD-RW読み込み:最大8倍速、DVD+RW読み込み:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大2倍速*69*70		
	CD-R/RW with DVD-ROM(薄型)*64*65*66	CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW読み込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-Video読み込み:最大4倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大4倍速、DVD+R(1層)読み込み:最大4倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大4倍速、DVD-RW読み込み:最大4倍速、DVD+RW読み込み:最大4倍速、DVD-RAM読み込み:最大2倍速*69		
	DVDスーパーマルチドライブ*63*64*65*66	CD-ROM読み込み:最大40倍速、CD-R読み込み:最大40倍速、CD-R書き込み:最大40倍速、CD-RW読み込み:最大40倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大16倍速、DVD-Video読み込み:最大6倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大12倍速、DVD-R(1層)書き込み:最大16倍速*67、DVD-R(2層)読み込み:最大8倍速、DVD-R(2層)書き込み:最大4倍速、DVD+R(1層)読み込み:最大12倍速、DVD+R(1層)書き込み:最大16倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(2層)書き込み:最大8倍速、DVD-RW読み込み:最大8倍速、DVD-RW書き換え:最大6倍速*68、DVD+RW読み込み:最大8倍速、DVD+RW書き換え:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大12倍速*69、DVD-RAM書き換え:最大12倍速*69*73		
	DVDスーパーマルチドライブ(薄型)*64*65*66	CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW読み込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-Video読み込み:最大4倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD-R(1層)書き込み:最大8倍速*67、DVD-R(2層)読み込み:最大6倍速、DVD-R(2層)書き込み:最大4倍速、DVD+R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(1層)書き込み:最大8倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大6倍速、DVD+R(2層)書き込み:最大4倍速、DVD-RW読み込み:最大6倍速、DVD-RW書き換え:最大6倍速*68、DVD+RW読み込み:最大6倍速、DVD+RW書き換え:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大5倍速*69、DVD-RAM書き換え:最大5倍速*69*71*72		
セキュリティ機能	FeliCaポート	FeliCaポート(外付け)(USB接続、ケーブル長:約70cm)。OSログオン時、スクリーンセーバ解除時などにEdy機能を搭載したFeliCaカードによる認証が可能。		

型名*1		MY24A/B-1 MJ24A/B-1	MY18A/B-1 MJ18A/B-1	MY28E/B-1 MJ28E/B-1
キーボード・マウス	指紋センサ機能付きUSB 109キーボード*74 & USBマウス(光センサー)	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付き、指紋センサ内蔵、USBインターフェイス、外形寸法:505(W)×153(D)×40(H)mm、質量:約1.1kg、USBマウス(光センサー式*76、スクロールホイール付き)添付		
	USB 109キーボード & USBマウス(光センサー)	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付き、USB1.1対応バスパワードハブ(2ポート)*75、USBインターフェイス、外形寸法:472(W)×179(D)×39(H)mm、質量:約1.2kg、USBマウス(光センサー式*76、スクロールホイール付き)添付		
	PS/2 109キーボード & PS/2マウス(ボール)	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付き、PS/2インターフェイス、外形寸法:456(W)×169(D)×40(H)mm、質量:約0.9kg、PS/2マウス(ボール式、スクロールホイール付き)添付		
	テンキー付きPS/2小型キーボード & PS/2マウス(ボール)	JIS標準配列(英数、かな)、テンキー付き、PS/2インターフェイス、外形寸法:384(W)×154(D)×36(H)mm、質量:約0.8kg、PS/2マウス(ボール式、スクロールホイール付き)添付		

＊ 51: セレクションメニュー中の各オプションは単体販売を行っていません。
＊ 52: セレクションによっては、再セットアップ用CD-ROMは本体添付されていません。HDDに格納してある再セットアップ用バックアップイメージ破損や誤って消去した場合などの媒体購入方法はhttp://nx-media.ssnet.co.jp/をご参照ください。
＊ 53: HDD内の約3GBを再セットアップ領域として使用しています。これらの「再セットアップ用バックアップイメージ」をCD-R媒体に書き出す場合には、ご購入時にセレクションメニューでCD-R/RW with DVD-ROMまたはDVDスーパーマルチドライブの選択が必要です。
＊ 54: 再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されていません。
＊ 55: メモリを拡張する場合は、標準搭載されている増設RAMボードを取り外す必要がある場合があります。
＊ 57: 同容量メモリを2枚搭載した場合、デュアルチャネルに対応します。
＊ 58: 20GBがNTFS、残りもNTFSでフォーマット済みです。また、最後の約3GBを再セットアップ領域として使用しています。ただしセレクションメニューで再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されていません。
＊ 59: セレクションメニューにてStandbyDiskありを選択した場合、増設HDDは未フォーマットです。StandbyDiskを選択されない場合は、増設HDDはNTFSでフォーマット済みです。
＊ 60: Always アップデートエージェント用の領域として、約400MBがあらかじめ使用されています。
＊ 61: メディアの種類、フォーマット形式によっては記載の速度が出ない場合があります。
＊ 62: コピーコントロールCDなど一部の音楽CDの作成および再生ができない場合があります。
＊ 63: 内蔵CD-ROM系ドライブを垂直の状態で使用する場合、8cmCDは使用できません。
＊ 64: DVDビデオ再生ツール「InterVideo® WinDVD™ 5 for NEC」が添付されます。
＊ 65: 書き込みツール「DigitalMedia/DLA」が添付されます。
＊ 66: バッファアンダーランエラー防止機能付きです。
＊ 67: DVD-RはDVD for General Ver.2.0/2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊ 68: DVD-RWはDVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊ 69: 片面4.7GBのDVD-RAMの速度です。カートリッジタイプのDVD-RAMメディア(TYPE1)は使用できません。またプリインストールOS標準でサポートされるフォーマットはFAT32のみです。
＊ 70: DVD-RAM12倍速メディアの読み込みはサポートしていません。
＊ 71: DVD-RAM12倍速メディアの書き込みはサポートしていません。
＊ 72: DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 3X-speed Revision 1.0/2.2 5X-speed Revision 2.0に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊ 73: DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 3X-speed Revision 1.0/2.2 5X-speed Revision 2.0/2.2 12X-speed Revision 5.0に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊ 74: プリインストールのWinsows® XP Professional以外では使用できません。
＊ 75: USBコネクタから100mA以下の電流を消費する機器のみ接続できます。また、USB2.0は未サポートです。
＊ 76: 光センサーマウスは、光沢のある白い面などの上で使用すると意図した通りに動作しない場合があります。その際は光学式マウスに対応したマウスパッドなどを別途ご用意ください。
＊ 77: デジタルディスプレイ用コネクタボードを選択した場合は、チップセットに内蔵のグラフィックアクセラレータ機能を使用します。
＊ 85: メインメモリの一部をビデオRAMとして使用します。

3.タイプMR(スリムタワー型)

型名*1			MY30V/R-1 MJ30V/R-1	MY26X/R-1 MJ26X/R-1
CPU			インテル® Pentium® 4 プロセッサー 531	インテル® Celeron® D プロセッサー 331
	クロック周波数		3GHz*20	2.66GHz
キャッシュメモリ(CPU内蔵)	1次		12Kμ命令実行トレース/16KBデータ	
	2次		1,024KB	256KB
システムバス			800MHz (メモリバス:667MHz)	533MHz (メモリバス:667MHz)
チップセット			インテル® Q963 Express チップセット	
最大メモリ(メインメモリ)			2GB [DIMMスロット×2]	
表示機能	グラフィックアクセラレータ		インテル® Q963 Expressチップセットに内蔵	
		ビデオRAM	最大128MB(メインメモリ256MBの場合)/最大256MB(メインメモリ512MB以上の場合)*35	
	解像度・表示色	640×480ドット(VGA)	最大1,677万色*3	
		800×600ドット(SVGA)	最大1,677万色*3	
		1,024×768ドット(XGA)	最大1,677万色*3	
		1,280×1,024ドット(SXGA)	最大1,677万色*4	
		1,600×1,200ドット(UXGA)	最大1,677万色*4	
		1,680×1,050ドット(WSXGA+)	最大1,677万色*4	
サウンド機能	音源/サウンド機能		インテル® High Definition Audio 準拠(最大192kHz/24ビット*44ステレオPCM同時録音再生機能、MIDI再生機能[OS標準])、3Dオーディオ(Direct Sound 3D対応)	
	スピーカ/スピーカ定格出力		ー*6	
	サウンドチップ		RealTek社製 ALC262搭載	
通信機能	LAN		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T*7、Remote Power On機能標準装備	
インターフェイス	USB		6(本体前面×2、本体背面×4)、USB2.0対応	
	シリアル		RS-232C D-sub9ピン×1、最高115.2kbps対応	
	パラレル		セントロニクス準拠 D-sub25ピン×1	
	ディスプレイ	アナログRGB	アナログRGB セパレート信号出力(75Ωアナログインターフェイス)、ミニD-sub15ピン×1	
	PS/2		ミニDIN6ピン×2[キーボードおよびマウスで占有済]	
	通信関連		RJ45 LANコネクタ×1、RJ11モジュラコネクタ×1(FAXモデム選択時のみ)	
	サウンド関連	マイク入力	ステレオミニジャック×1(マイク入力インピーダンス64kΩ 、入力レベル5mVrms、バイアス電圧2.5V)	
		ライン入力	ステレオミニジャック×1(入力インピーダンス64kΩ、入力レベル1Vrms[最大2Vrms])	
		ヘッドフォン出力	ライン出力と共用(対応ヘッドフォンインピーダンス 16Ω-100Ω「推奨32Ω」*45、出力電力 5mW/32Ω)	
		ライン出力	ステレオミニジャック×1(出力レベル 1Vrms、出力インピーダンス64kΩ)	
記憶装置	FDD		標準内蔵、3.5型、3モード(720KB/1.2MB/1.44MB)対応*9	
ベイ	3.5型ベイ[空き]		1スロット(FDDで占有済)[0]	
	内蔵3.5型ベイ[空き]		1スロット(標準HDDで占有済)[0]	
	5型ベイ[空き]		1スロット(CD-ROM系ドライブで占有済)[0]	
拡張スロット	PCIスロット[空き]		2スロット(ハーフ(Low Profile)*12×2)[2](FAXモデム選択時は1スロット占有済*26)	
電源			AC100V±10%、50/60Hz(入力波形は正弦波のみをサポート)	
消費電力*13(最大構成時)			約79W(最大約179W)	約73W(最大約173W)
皮相電力*13(最大構成時)			約107VA(最大約241VA)	約98VA(最大約233VA)

型名*1		MY30V/R-1 MJ30V/R-1	MY26X/R-1 MJ26X/R-1
エネルギー消費効率(省エネ基準達成率)*13*14	目標年度 2005年度	P区分 0.00021 (AAA)	P区分 0.00024 (AAA)
	目標年度 2007年度	j区分 0.0028 (A)	j区分 0.0030 (A)
電波障害対策		VCCI ClassB	
外形寸法(本体)		98(W)×385(D)×343(H)mm(スタビライザ含まず)、 220(W)×385(D)×343(H)mm(スタビライザ含む)*16	
質量(本体)*15		約9.7kg	
温湿度条件		10 ～ 35℃ 、20 ～ 80%(ただし結露しないこと)	
インストール可能OS *17*18		Windows® XP Professional(SP2)*21/Home Edition(SP2)、Windows® 2000 Professional(SP4)*19/Server(SP4)*19	
主な添付品		電源コード、スタビライザ、アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM、印刷マニュアル類、保証書 他	

* 1: セレクションメニューを選択した構成での型名・型番については、本書の『型番を控える』をご覧ください。
* 3: グラフィックアクセラレータの持つ最大発色数です。
* 4: グラフィックアクセラレータの持つ解像度および色数の能力であり、接続するディスプレイによっては、表示できないことがあります。
* 6: 音源再生には外付スピーカまたはスピーカを搭載したディスプレイが必要です。(本体ライン出力端子使用)
* 7: 国際エネルギースタープログラムに対応するため、一定時間、操作がない状態が続くと、省電力モード (システムスタンバイまたは休止状態)に入るため、ネットワーク構築環境によって適さない場合があります。
* 9: 1.2MBへの対応は、ドライバのセットアップが必要です (標準添付)。1.44MB以外(720KB/1.2MB)のフォーマットはできません。
* 12: 搭載可能なボードサイズは、64(W)×167(D)mm以内となります。
* 13: OSはWindows® XP Professional、最小容量メモリ (スマートセレクションメニューで選択できる最小容量)(エネルギー消費効率は最大容量メモリ)、最大容量HDD、CD-ROM、FDD、PS/2 109キーボード、PS/2マウス(ボール)の構成にて測定しています。(ハイパースレッディング・テクノロジーはoff。)
* 14: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語Aは達成率100%以上200%未満、 AAは達成率200%以上500%未満、AAAは達成率500%以上を示します。
* 15: 最小容量メモリ(スマートセレクションメニューで選択できる最小容量)、最大容量HDD、CD-ROM、FDDの構成での質量です。(キーボード、マウスの質量は含みません)
* 16: 縦置き時の足以外の突起物は含みません。
* 17: 「SP」は 「Service Pack」の略称です。インストール可能OS用ドライバは ( )内のService Packのバージョンにてインストール手順の確認をおこなっているものです。インストール可能OSを使用する場合は ( )内のService Packを適用してご使用ください。別売のOSとService Packは別途入手が必要となります。
* 18: インストール可能OS用ドライバは本体に添付していません。また、Mate Jではプリインストールされている OS以外は使用できません。「http://nec8.com/」の上段ボタン中「サポート情報」→「ダウンロード・マニュアル」の 「ダウンロード」の 「インストール可能OS用ドライバ (サポートOS用ドライバ)」→「インストール可能OS用ドライバ (サポートOS用ドライバ)」の 「Mate」に順次掲載します。なお、インストール可能OSを利用する際、インストール/添付アプリケーションが使用できない等、いくつか制限事項があります。必ずご購入前に、「インストール可能OSをご利用になる前に必ずお読みください」をご覧になり、制限事項を確認してください。
* 19: 以下のOSとセレクションメニューの組合せは、インストール可能OSで使用できません。購入時にご注意ください。Windows® 2000 Professional/Serverでは、FAXモデムが使用できません。この他にもインストール可能OSをご利用の際の制限事項がありますので＊18をご覧ください。
* 20: Windows® XP Professionalを選択の場合、ハイパースレッディング・テクノロジー対応となります。ハイパースレッディング・テクノロジーは必ずService Pack 1以上を適用した状態で使用してください (出荷時にはService Pack 2が適用済み)。ハイパースレッディング・テクノロジーは工場出荷時OFFに設定されています。本機能を使用するためにはBIOSセットアップユーティリティで設定を変更する必要があります。
* 21: MY30V/R-1およびMJ30V/R-1のハイパースレッディング・テクノロジーはプリインストールモデルのみのサポートとなります。
* 26: FAXモデムボードを選択した場合、本ボードの取り外しはできません。
* 35: メインメモリの一部をビデオRAMとして使用します。
* 44: 使用出来る量子化ビットやサンプリングレートは、 OSや使用するアプリケーションなどのソフトウェアによって異なります。
* 45: 周波数特性を保証する値ではありません。

◆セレクションメニュー*51

型名*1		MY30V/R-1 MJ30V/R-1	MY26X/R-1 MJ26X/R-1
再セットアップ用データ*52	HDD	再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納*53	
	CD-ROM	再セットアップ用CD-ROM添付*54	
メモリ*55	256MB	−	DDR2-SDRAM、PC2-5300*56、256MB DIMM×1
	512MB	DDR2-SDRAM、PC2-5300*56、512MB DIMM×1	
	1GB	DDR2-SDRAM、PC2-5300*56、512MB DIMM×2*57	
	1GB	DDR2-SDRAM、PC2-5300*56、1,024MB DIMM×1	
	2GB	DDR2-SDRAM、PC2-5300*56、1,024MB DIMM×2*57	
ハードディスク*58	40GB	約40GB、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応	
	80GB	約80GB、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応	
	160GB	約160GB、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応	
CD-ROM系*61*62	CD-ROM*63	CD-ROM読み込み:最大40倍速、CD-R読み込み:最大40倍速、CD-RW読み込み:最大40倍速	
	DVD-ROM*63*64	CD-ROM読み込み:最大40倍速、CD-R読み込み:最大40倍速、CD-RW読み込み:最大32倍速、DVD-ROM読み込み:最大16倍速、DVD-Video読み込み:最大4倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大6倍速、DVD+R(1層)読み込み:最大6倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大6倍速、DVD-RW読み込み:最大6倍速、DVD+RW読み込み:最大6倍速、DVD-RAM読み込み:最大2倍速*69	
	CD-R/RW with DVD-ROM*63*64*65*66	CD-ROM読み込み:最大40倍速、CD-R読み込み:最大40倍速、CD-R書き込み:最大40倍速、CD-RW読み込み:最大40倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大16倍速、DVD-Video読み込み:最大4倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大6倍速、DVD-RW読み込み:最大8倍速、DVD+RW読み込み:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大2倍速*69*70	
	DVDスーパーマルチドライブ*63*64*65*66	CD-ROM読み込み:最大40倍速、CD-R読み込み:最大40倍速、CD-R書き込み:最大40倍速、CD-RW読み込み:最大40倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大16倍速、DVD-Video読み込み:最大6倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大12倍速、DVD-R(1層)書き込み:最大16倍速*67、DVD-R(2層)読み込み:最大8倍速、DVD-R(2層)書き込み:最大4倍速、DVD+R(1層)読み込み:最大12倍速、DVD+R(1層)書き込み:最大16倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(2層)書き込み:最大8倍速、DVD-RW読み込み:最大8倍速、DVD-RW書き換え:最大6倍速*68、DVD+RW読み込み:最大8倍速、DVD+RW書き換え:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大12倍速*69、DVD-RAM書き換え:最大12倍速*69*73	
通信機能	FAXモデム*79	モデム:最大56kbps(V.90、K56flex時)/最大33.6kbps(V.34時)、FAX:最大14.4kbps(V.17時)	
キーボード・マウス	PS/2 109キーボード & PS/2マウス(ボール)	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付き、PS/2インターフェイス、外形寸法:456(W)×169(D)×40(H)mm、質量:約0.9kg、PS/2マウス(ボール式、スクロールホイール付き)添付	

＊51: セレクションメニュー中の各オプションは単体販売を行っていません。
＊52: セレクションによっては、再セットアップ用CD-ROMは本体添付されていません。HDDに格納してある再セットアップ用バックアップイメージ破損や誤って消去した場合などの媒体購入方法はhttp://nx-media.ssnet.co.jp/をご参照ください。
＊53: HDD内の約3GBを再セットアップ領域として使用しています。これらの「再セットアップ用バックアップイメージ」をCD-R媒体に書き出す場合には、ご購入時にセレクションメニューでCD-R/RW with DVD-ROMまたはDVDスーパーマルチドライブの選択が必要です。
＊54: 再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されていません。
＊55: メモリを拡張する場合は、標準搭載されている増設RAMボードを取り外す必要がある場合があります。
＊56: MY26X/R-1およびMJ26X/R-1ではメモリバス533MHz(PC2-4200相当)で動作します。
＊57: 同容量メモリを2枚搭載した場合、デュアルチャネルに対応します。
＊58: 20GBがNTFS、残りもNTFSでフォーマット済みです。また、最後の約3GBを再セットアップ領域として使用しています。ただしセレクションメニューで再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されていません。
＊61: メディアの種類、フォーマット形式によっては記載の速度が出ない場合があります。
＊62: コピーコントロールCDなど一部の音楽CDの作成および再生ができない場合があります。
＊63: 内蔵CD-ROM系ドライブを垂直の状態で使用する場合、8cmCDは使用できません。
＊64: DVDビデオ再生ツール「InterVideo® WinDVD™ 5 for NEC」が添付されます。
＊65: 書き込みツール「DigitalMedia/DLA」が添付されます。
＊66: バッファアンダーランエラー防止機能付きです。
＊67: DVD-RはDVD for General Ver.2.0/2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊68: DVD-RWはDVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊69: 片面4.7GBのDVD-RAMの速度です。カートリッジタイプのDVD-RAMメディア(TYPE1)は使用できません。またプリインストールOS標準でサポートされるフォーマットはFAT32のみです。

＊ 70：DVD-RAM12倍速メディアの読み込みはサポートしていません。
＊ 73：DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 3X-speed Revision 1.0/2.2 5X-speed Revision 2.0/2.2 12X-speed Revision 5.0に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊ 79：回線状態によっては、通信速度が変わる場合があります。また、内蔵FAXモデムは一般電話回線のみに対応しています。56kbpsは受信時の最大速度です。データ送信時最大33.6kbpsとなります。

セレクションメニューで選択できるディスプレイ仕様一覧

	20.1型高精細ワイドTFT液晶ディスプレイ（デジタル/アナログ共用）＊2	19型TFTアナログ液晶ディスプレイ＊2	17型TFTアナログ液晶ディスプレイ＊2	15型TFTアナログ液晶ディスプレイ＊2
セレクションメニュー名	20.1型高精細ワイドTFT-LCD（WSXGA+）	19型TFTアナログ-LCD(SXGA)＊2	17型TFTアナログ-LCD(SXGA)＊2	15型TFTアナログ-LCD＊2
型名	LCD2070WNX-V	LCD92VM-V	LCD72VM-V	LCD52VM-V
概要	20.1型高精細TFT液晶パネル、視野角拡大フィルム、フルカラー＊5、ステレオスピーカ搭載	19型TFT液晶パネル、視野角拡大フィルム、フルカラー＊5、ステレオスピーカ搭載	17型TFT液晶パネル、視野角拡大フィルム、フルカラー＊5、ステレオスピーカ搭載	15型TFT液晶パネル、視野角拡大フィルム、フルカラー＊5、ステレオスピーカ搭載
インターフェイス	DVI-D(24ピン)、アナログRGB ミニD-sub15ピン、USB2.0×4	アナログRGB ミニD-sub15ピン、ステレオライン入力×1	アナログRGB ミニD-sub15ピン、ステレオライン入力×1	アナログRGB ミニD-sub15ピン、ステレオライン入力×1
ドットピッチ	0.258mm	0.294mm	0.264mm	0.297mm
解像度	640× 480ドット＊4、800× 600ドット＊4、1,024× 768ドット＊4、1,280×1,024ドット＊4、1,680×1,050ドット(自動切替)	640× 480ドット＊4、800× 600ドット＊4、1,024× 768ドット＊4、1,280×1,024ドット(自動切替)	640× 480ドット＊4、800× 600ドット＊4、1,024× 768ドット＊4、1,280×1,024ドット(自動切替)	640× 480ドット＊4、800× 600ドット＊4、1,024× 768ドット(自動切替)
消費電力	約68W(サスペンド時約2W以下)	約40W(サスペンド時約2W以下)	約34W(サスペンド時約2W以下)	約23W(サスペンド時約2W以下)
皮相電力	約100VA	約80VA	約60VA	約50VA
外形寸法	約471.4(W)×220(D)×371.3～481.3(H)mm	約418(W)×199.5(D)×427.8(H)mm	約375.4(W)×180(D)×389(H)mm	約344.6(W)×165(D)×352.7(H)mm
質量	約8.5kg	約6.5kg	約4.7kg	約3.3kg
LCDドット抜け＊3	0.00011% 以下	0.00018% 以下	0.00016% 以下	0.00017% 以下
チルト	上30°　下5°	上20°　下5°	上20°　下5°	上20°　下5°
スイブル	左170°　右170°	−	−	−
製造元	NECディスプレイソリューションズ＊6	NECディスプレイソリューションズ＊6	NECディスプレイソリューションズ＊6	NECディスプレイソリューションズ＊6

＊　2：液晶ディスプレイは非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け（ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点）が見えることがあります。また、見る角度によっては色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。なお、ドット抜けについては＊3もご覧ください。
＊　3：ドット抜け割合の基準値はISO13406-2の基準に従って、副画素（サブピクセル）単位で計算しています。
詳細は http://nec8.com/products/pc/lcddot.html をご参照ください。
＊　4：拡大表示によって文字などの線の太さが不均一になることがあります。
＊　5：ディザリングにより1,619万色を実現します。
＊　6：NECディスプレイソリューションズ社製ディスプレイの保証はNECディスプレイソリューションズ社の規定に基づきます。
詳細はhttp://www.nec-display.com/nec/3yer/index.htmlをご参照ください。

内蔵LAN(ギガビットイーサネットLAN)

●規格概要

項目	規格概要
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3ab
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	1000BASE-T使用時:1000Mbps
	100BASE-TX使用時:100Mbps
	10BASE-T使用時:10Mbps
伝送路	1000BASE-T使用時:UTPカテゴリ5e以上
	100BASE-TX使用時:UTPカテゴリ5
	10BASE-T使用時:UTPカテゴリ3または5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
ステーション台数	最大1024台/ネットワーク
ステーション間距離/ ネットワーク経路長※	1000BASE-T:最大約200m /ステーション間 100BASE-TX:最大約200m /ステーション間 10BASE-T:最大約500m /ステーション間 最大100m /セグメント
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式

※:リピータの台数など、条件によって異なります。

FAXモデム

適用回線		加入電話回線
ダイヤル方式		パルスダイヤル(10/20PPS)
		トーンダイヤル(DTMF)
FAX機能	交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置
	同期方式	半2重調歩同期方式
	通信規格＊1	ITU-T
		V.17:14,400/12,000/9,600/7,200bps
		V.29:9,600/7,200bps
		V.27ter:4,800/2,400bps
		V.21ch2:300bps
	送信レベル	−10 〜−15dBm(出荷時−15dBm)
	受信レベル	−10 〜−40dBm
	制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド(CLASS1)
データモデム機能	同期方式	全2重調歩同期方式
	通信規格＊1	K56flex:56,000 〜 32,000bps＊2 ITU-T V.90:56,000 〜 28,000bps＊2 V.34:33,600 〜 2,400bps V.32bis:14,400 〜 4,800bps V.32:9,600 〜 4,800bps V.22bis:2,400/1,200bps V.22:1,200/600bps V.21:300bps
	エラー訂正	ITU-T V.42(LAPM) MNP class4
	データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5
	送信レベル	−10 〜−15dBm(出荷時−15dBm)
	受信レベル	−10 〜−40dBm
	制御コマンド	Hayes ATコマンド準拠＊3

＊1:回線状態によって通信速度が変わる場合があります。
＊2:送信時は33,600 〜 2,400bpsになります。
＊3:ATコマンドについては、『活用ガイド　ハードウェア編』をご覧ください。

ご注意

（1） 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2） 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3） 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
（4） 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
（5） 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6） 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
（7） 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows XP、および本機に添付のCD-ROMは、本機のみでご使用ください。
（8） ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
（9） ハードウェアの保守情報をセーブしています。
（10） 本書に記載しているWebサイトは、2006年10月現在のものです。

初版 2006 年 11 月

853-810602-231-A
Printed in Japan

このマニュアルは再生紙（古紙率 100%）を使用しています。